

大谷大学広報

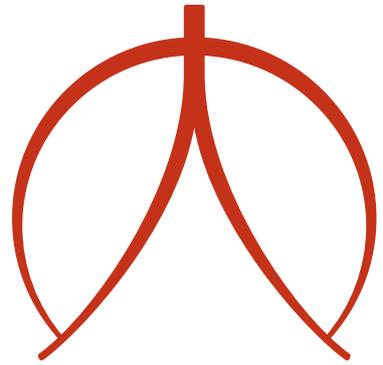
編集 大谷大学広報編集委員会

No.175

2008年4月1日

2008

春



新入生歓迎実行委員会

新入生の諸君を迎えて

木村 宣彰

谷大生活楽しいな

～後悔先に立つ～

谷大エリア散策

アメリカヤ楽器店

教員研究室一覧表

SQUARE

便利になりすぎて困ってませんか？

—少欲知足のすすめ—

—案 真

冬扇

近頃、街中で雑種犬を見かけることが少なくなった。一目で犬種が分かるカタカナ名前の小型犬ばかりである。日本犬は「豆柴」といわれる小型の柴犬ぐらいで、まさに「欧米か」と突っ込みたくなる。伸び縮みするリードを付け、犬も人もカッコ良く街路樹の下を歩いているのを眺めていると、犬がヨーロッパ製のブランドバックに見えてくる。

昭和の下町には、拾ったり譲り

受けたりして、多くの雑種犬が番犬として飼われていた。一方、裕福な家庭では、秋田犬などの大型日本犬に加えて、シェパードやセントバーナード、コリーなど、当時のテレビ番組の影響であろう洋犬も飼われていた。飼い犬の犬種に経済力アピールの側面や流行性があるのは今も昔も変わらない。

格差社会といえども、日本人全体としては裕福になった。都市の住居環境では小型の犬が好まれる。日本人が犬に求めるものは「番犬

の持つ有用性から「愛玩犬」のファッション性へと変化した。そんな中、雑種犬は街から姿を消した。雑種犬はどこに行ったのだろうか。全国で年間10万頭以上の犬が殺処分されている事実が頭をよぎる。

郊外で、民家の入口につながれ日向ぼっこをしている雑種犬、部屋着に上着を羽織っただけの年配の女性に連れられて散歩している雑種犬を見かける。懐かしさがこみ上げるとともに、救われた命があると思う。(井上 摩紀)

自分の心の願いに忠実に

学長 木^き村^{むら}宣^{せん}彰^{しょう} (教授・仏教学)

春は新入生を迎える季節である。諸君を歓迎して本学の桜が一気に開花する。

新入生の諸君は、今日まで初等中等の12年間の学びを終えて本学に入学された。今までの学びは、どちらかというを与えられた既存の知識を受容れることに努めるものであった。その努力は、将来の大学進学のため、将来の進路のためにと考えてのことであったかと推察する。私たちは、常に将来の幸せを望んで努力をしているが、未来でなく現在に生きている。だから今の信念が確固たるものでなくてはならない。現在に確かな信念を築くことが未来を生きる基礎となる。

ところが、私たちは地位や名誉や金銭などの不確かなものを拠り所にして物事を考えている。これらは条件によっていかようにも変動する相対有限なものである。このような変動するものを拠り所にして生きることは不安定である。そこで確固たる信念を持つとすれば相対的な事物を越えた変動しない確かなものに拠らなくてはならなくなる。しかし、この世の相

対的なものを離れて別に確かなものを求めることはできない。それはあたかも水と波のような関係にある。千変万化する波が同じ海の水を離れてはあり得ないように、私たちの変動する心を離れて別に確固とした信念を求めるなどはできない。常に変化して止まないこの世に生活しながら確かな生きる指針となる信念を持つことは容易なことではないが、常にこのように心がけたいものである。

このような思いにかられる時に、次のような言葉が思い出される。

「ひねくれたり、ごまかしたり、自分を欺いたりしないで、自分の心の願いに忠実に従え。それだけ心得ていけばよいのだ」

これは倉田百三の『出家とその弟子』で親鸞が語る言葉である。親鸞は若い弟子に、無理をしないで忠実に自分の心の本当の願いに従えと諭している。自分の心に忠実に従うとは「ひねくれたり、ごまかしたり、自分を欺いたりしないで、何事にもただ一筋に素直に、自分の心の本当の声に耳を傾

けることである。私たちは外からの情報によって日々様々な迷いを作り出しながら生きている。そのうちに自分の心が本当に何を願っているか解らなくなってくる。だが、素直で真面目でありさえすれば、それを見つげ出す智慧が次第に磨き出されると作中の親鸞は若い弟子唯円に語っている。本当に自分のしたいこと、学びたいことを、一心にやり抜くという素直で真面目な心が若者には大事である。

岡潔の『春宵十話』に引用された窪田空々の「魔法の森」という感銘深い話がある。その話は、おおそ次のようである。

——森の近くに姉と弟が住んでいた。父母が亡くなり、寄る辺のなくなった幼い姉弟は、仕方なく住みよい村を探し求めて森に分け入った。そこが恐ろしい魔法の森とも知らずに進んで行った。森は果てしなく続き、やがてお腹も空いてくる。そのうちに森の中でイチゴが群生する草むら出た二人は大喜びでそれを食べようとした。ところが、一羽の鳥が「苺を食べると、わーすれる。一つ苺は一年、わーすれる」と鳴いた。姉はすぐ



木村宣彰学長

さま食べるのを止めたが、弟は15個も食べてしまった。元気になった弟は、そこに姉を残して森から抜け出る道を探しに出かけ、そのまま帰ってこなかった。この森に入って7日目になると魔法にかかってしまう。そのことを案じた鳥は、魔法の森を抜け出す道を姉に教えて鳴き続けたが、姉はここに居ないと弟が帰って来た時にわからなくなると思い、そこを動かなかった。

一方、弟は森を抜け出して住みよい村に辿り着き、そこで子を亡くした夫婦に引き取られ幸せに過ごしていた。けれど、11年12年と経つうちに、何だかとても大事なものを忘れてるように思われて心が落ち着かなくなってきた。ついに決心して養父母の許しを得て旅に出て、数年を経た頃にもとの森にやって来た。何だか以前に来たことのある森のように思われた。しばらく行くとイチゴの草むらがあった。ちょうど、この時が15年目に当たっていたため魔法が解け、弟はすべてを思い出した。ここで待っている筈の姉を探した。そこには雪のような一本の百合の花が

風にゆられてあたりに香気を放っていた。弟は姉の変わり果てた姿と気づき、思わず花の中に涙を落とした。すると百合の花はたちまち姉の姿になり、姉弟は手を取り互いに喜び合った。――

何かとても大事なものを忘れて過ごしていたような気がする、という弟の素直な心の願いを巧みに描いている。この話で15個のイチゴは何を象徴しているのだろうか。現在の学校制度でいえば、6・3・3の小中高の学校教育を終える11年目12年目頃に何か大事なものに気づきはじめ、15年目はまさに諸君の本学在学時に符合するではないか。私たちの心の安定は、過去の問題や未来の不安に関係なく、この今をどのように生きているかにかかっている。本学で学ぶ諸君には、今を大切に心奥底からわき起こる何か大事なものに素直に対峙し、畏敬の念を持ちつつ深く考えて欲しいと願っている。

新入生の諸君を迎え、このような思いを懐いたことである。

C O N T E N T S

- p. 2…新入生の諸君を迎えて
- p. 4…谷大生活楽しいな
～後悔先に立つ～
- p. 9…CAMPUS☆TOPICS
- p.19…2008年度
新入生歓迎イベント 若葉祭
- p.20…本学における個人情報の
取り扱いについて
- p.21…国際交流トピックス
- p.24…Keiji☆Ban
- p.33…谷大エリア散策
- p.34…研究室だより／学会だより
- p.35…大谷中学・高等学校からの
お知らせ
九州大谷短期大学からの
お知らせ
- p.36…学生相談室から／出版物紹介
- p.37…TANIDAI FRONT
- p.42…2008年度入学試験 結果
- p.43…教員研究室一覧表
- p.44…SQUARE

表紙のことば

新入生の皆さん、ようこそ大谷大学へ！
大学生になった気持ちはいかがでしょうか？
不安なことありませんか？
そんな君！ 大丈夫！！
どんどん周りの先輩を頼ってみてください
話しかけてみてください
私たちは、みんなを待っています！！

新入生歓迎実行委員会
委員長 松井 亮

冬扇

詳しくは「夏炉冬扇」という。夏の炉や冬の扇のように役にたためることの意味に用いる。ここでは役にたつたない次元をこえて一筋の道に生きる精神をあらわす。

2008年4月1日発行
発行 大谷大学企画室
編集 大谷大学広報編集委員会
〒603-8143
京都市北区小山上総町 大谷大学企画室内
電話 (075) 411-8115
FAX (075) 411-8149

谷大生活楽しいな

～ 後悔先に立つ～

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これから始まる大学生活に、山盛りの期待と同時に、不安もちょっぴり感じておられるのではないのでしょうか。授業、サークル、海外研修、課外活動。どんなことがあるんだろう、自分もちゃんとやれるかな・・・。

大丈夫、谷大は楽しいです。その楽しい「谷大生活」をもっと楽しいものにできるよう、先輩方のさまざまな「後悔」を集めてみました。後悔先に立たずと言いますが、先達のありがた〜い後悔、役立てていただけたらうれしいです。



今だからできること

貞光 健二

『教師になるために、今だからできることをしよう』という思いを胸に秘め、私の谷大生活が始まった。授業だけではなく、サークル活動を通して色々な体験をして、将来の自分に少しでも役立てたいと思ったからだ。

私は、児童文化研究会という名前だけ見ると堅い感じがするサークルに入っているが、ここが私にとって一番自分を出せる場所である。このサークルのおかげで本当に人間が大好きになった。公演先で出会った多くの子どもたちとその家族、心を開くことができるサークル部員、いつも本当にお世話になっている先輩方に支えられ、人間的に大きく成長することができたと思う。

しかし、楽しいことばかりのサ

ークル活動ではない。私は2年間会長を務めたが、先輩、会長の立場として、後輩への指導、配慮という面では困難の連続だった。劇で使う人形の製作が思うように進んでくれないことや、練習の時に人数が集まらず、内容もはかどらないので、余裕のある状態で本番を迎えることができなかったことなど問題は多かったが、最大の失敗は、私自身がシャイな性格であるがゆえに、言いたいことがはっきりと言えず、先輩と後輩の『やる時はしっかりやる、遊ぶ時は思いっきり遊ぶ』ということに対しての意識の差を埋めることができなかったことである。

私たちがそうであったように、後輩も上の立場に立つと、先輩としての難しさを理解することがで



児童文化研究会の人形劇(学園祭)

きる日が来るだろう。

楽しいことばかりだが、失敗もあるサークル活動。楽しいことばかりのサークルの方が良いに決まっているが、失敗というものを経験することも『今だからできること』なのではないだろうか。

(さだみつ けんじ)
(哲学科 第4学年)



博物館のある利用法

吉田 仁美

「真宗総合学術センター 響流館」の1階には図書館があるが、それだけではない。図書館のさらに奥には博物館が設置されている。しかし、私は逆にその便利さ故に、いつでも行くことができるという気持ちから、素通りしてしまうのが現実であった。

だが、この本学博物館では『皇太子聖徳和讃』などの真宗関係の史料や、仏教・史学・文学・芸術など幅広い分野の貴重な文化財を約1万2千点所蔵している。そこからテーマを設け、年に4回の企画展と1回の特別展が行われている。また、秋には博物館学課程履修の学生が自ら企画・展示・解説を行う実習生展も開催されている。

さらに、特別展などでは大学院生による学生ガイドも行われ、その展示解説も適宜行われている。

もし、頻繁に通っていればその実習生展や学生ガイドを行った際に、展示する文化財の配置や解説する時の動線などをもっと考慮して、来館者の方に分かりやすい展示・解説が可能となっていたかもしれないと思うと今でも悔やまれる。

したがって、新入生の皆さんには、せっかく、身近な場所で貴重な文化財が公開されており、また本学の学生であれば入館料は無料となっているので、博物館には何度も通い、本物の史料に触れて、歴史や文化を知っていただきたい。



実習生展 展示作業風景

もしかしたら、中学の歴史や高校の日本史の授業で聞いたことのあるような文化財を目の当たりにする機会があるかもしれない。

(よしだ ひとみ
修士課程 仏教文化専攻 第2学年)



大学での授業に合格する方法!?

岡田 治之

後悔している失敗と言われて思い出すのは、学生時代に不合格となったある授業のことである。

それは第1学年で履修した「国史学I」という授業。1回も欠席せず、黒板に書かれた情報や先生の話を取ってノートに取り、いたって真面目に受講した。なのに試験結果は不合格。しかも、試験直前に私のノートをコピーし、授業にほとんど出席しなかった友人は合格。あまりにも不条理な結果にクレームにいこうかと思ったくらいであった。

しかし今考えると、不合格になった理由はよくわかる。試験問題

は「授業でふれた事例を紹介し、あなたの考えを述べなさい」というものだった。それに対して、私はノートにしたための授業内容を要約して書いてだけ。理解したことをもとに考えた自分の意見を書けなかったからであろう。

驚くかもしれないが、高校と大学では、授業を受けるルールが異なっている。高校までの授業は、修得しなければならない知識の基準があり、そこに達しているかが評価される。

一方、大学の授業は、講義の内容を理解することが最終的な目標ではなく、それに触発されて如何



授業ノートと試験用ノート

に自分で考えるかが重要となる。授業で先生はみんなに同じことを教えているにすぎない。しかし、それぞれが持つ問題意識や関心が異なるため、学生は一人ひとりが異なる見解を持つことが起こる。どれだけ人と異なる視点で考える

かが評価されるのである。

それは、それぞれの問題や関心が異なるからであり、そのことが評価の対象として重視される。

私の経験から伝えたいことは、大学では多くの場合、どんな些細

なことでもいいから他者とは違う考え方を見つけることが高く評価されるということであり、大学の授業内容は、そのように組み立てられているということである。

学生時代にこのことがわかって

いれば、無残に撃沈された科目のいくつかは合格となり、もっと大学の授業を活用できたかもしれない。

（おかだ はるゆき）
（入学センター 職員）



京都の魅力 ～インターンシップの体験から～

小島 菜月

私は第3学年の夏休みに大学コンソーシアム京都のインターンシップ制度を利用し、財団法人京都府国際センターでのインターンシップ実習を経験した。インターンシップに参加したきっかけは、「一か月以上もある夏休みを何もせず過ごすのはもったいない。」と思ったからだ。大学コンソーシアム京都のインターンシップ制度は、京都の他大学の学生も参加するので、今まで関わりのなかった人たちと出会うことができる。これを機に友達の輪を広げようと思い参加した。

国際センターでの実習の中で一番印象に残っているのは、受付の業務だ。受付の仕事はインターネット用パソコンや本などの貸出、

来客者の対応など特に難しい仕事内容ではなかった。しかし、時々あった観光案内や道案内などとても難しかった。国際センターの利用者のほとんどは外国人で、英語で会話しなければならないことが理由のひとつだが、京都の大学に通い始めて3年にもなるのに、京都に関する知識がほとんどなく、説明することができなかったのだ。私は、京都のたくさんの魅力を今まで知らずに、大学生活の半分以上を過ごしていたことを後悔した。インターンシップに参加して、大学卒業後の私の将来のイメージを膨らませることができ、さらには京都の魅力を再確認することができた。私にとってとても貴重な経験となった。



国際センターにて

新入生のみなさんには、京都を様々な視点から見て、新しい京都を発見してほしい。それと同時に、たっぷりある自由な時間を活かして様々なことに挑戦し、楽しい大学生活を過ごしてほしい。

（こじま なつき）
（国際文化学科 第4学年）



是非失敗すべし

ヒルド 禎央

私は2007年度中国の東北師範大学短期中国語研修において非常に得難い体験をしたので、その体験を紹介したい。

よく「物事に失敗は付きもの」と言うが、語学研修は強いて言えば、失敗するために外国へ行くようなものである。日本とは言葉も違えば文化や風習も違う国で生活するのだから、失敗するのは当たり前前のことであり、失敗しない方がむしろ不自然だ。

私の中国での生活も失敗だらけだった。中国語の発音を間違えたり、食堂で注文の仕方を間違えるなどの失敗はよくあった。中でも洗濯物を乾かしている時に起こった失敗は強烈なものであった。洗

濯物はかさ張るので私の場合は洗濯ヒモを使って干していた。数時間後、洗濯物を取り入れに行くと異変に気付くこととなった。洗濯物は地べたに打ち棄てられ、洗濯ヒモは無くなっていた。

洗濯物を干していた場所は自分たちの宿舎の部屋の中にあり、その部屋に泊まる人が共有して使っていた。そのため、人が入り放題だったのだ。おそらく洗濯ヒモは掃除の人が回収したか、誰か欲しい人が持っていったのだろう。

確かに私は洗濯ヒモを誰かに持っていかれるという失敗をしたが、これはどうするべきであったのだろうか。外国での失敗は先程述べたように当たり前前のことなのであ



東北師範大学のキャンパスの風景

る。むしろ私はこの失敗を「成功」と考える。なぜなら、外国での体験が増えたからだ。では、私が考える「失敗」とは何か。それは、失敗を恐れて行動に移せないことだ。あなたはどう思いますか。

(ひるど てお
史学科 第3学年)



時間のマナー ～「あの、ちょっといいですか…??」～

林 健太郎

大谷大学では、年に一度の学園祭「紫明祭」を運営するために「学園祭実行委員会」が組織される。私は、昨年、学生と大学のかげ橋となる事務局長を務めた。ある日の出来事をあげてみたい。

「これ、明朝の9時に借りたいんですけど…」と依頼状(学生の間では、「郵便紙」と呼ばれるが、間違いだった。)を片手に、それに判子が押してあることを確認しながら、学生課の窓口^{窓口}に駆け込む。

時間は、16時59分。

「間にあったあ～」という安堵感にひたりながら、「それと、今夜中に業者さんへ回答しなければ

ならないことがあり、相談したいことがあるのですが…」といつものように話し始めた瞬間、「今、何時かな?」という厳しいお言葉…。

これは、学生課の職員さんが私のことを嫌ってのことではない。後日、「いつもいつも5時ぎりぎりに来課されても、落ち着いて話せないから、なかなか親身に相談にのってあげられない。それに、学生課だけで調整や決定をできないこともあるからね」と諭された。実は、私は、やるべきことを期限の直前でないとできないという性格から、窓口終了の数分前に何うことが日常的になっていたのである。



学生課へのアボ取り(奥が筆者)

この経験から、自分の思いを相手に伝える際は、ゆとりのある行動をとらないと、よりよい回答を得にくいということに気付いた。とりわけ、相談や交渉ごとはなおさらである。また、時間にギリギリのことばかりをやっていては、人からの信頼も得られないだろう。

充実したキャンパスライフを送るには、スケジュール帳や携帯電話のスケジュール機能をしっかりと使い、時間を計画的に管理することが鍵となる。そして、私のように「遅れまして、申し訳ありません」と頭を下げる姿をさらさないでほしい。

…かく言いながらも、この原稿も締め切りぎりぎりの執筆となってしまった。

(はやし けんたろう)
(史学科 第4学年)



Wonderful Opportunity

廣川 智貴

テーマは「谷大生活楽しいな～後悔先に立つ～」。さあ、困った。なぜなら、私には大学生活で後悔した記憶がないからである。なぜ後悔しなかったのか。

私は高校まで部活動に熱中していたが、大学ではどの部にも入るまいと決めていた。また、高校時代の悲惨な通信簿が示すように、基礎学力が著しく欠けていたため、授業にも魅力を感じなかった。つまり、入学早々にすることがなくなってしまったのである。そこでバイトに精を出すことになる。だが、第1学年を終えたある日、不勉強な息子に業を煮やした親から「退学」を宣告された。このときばかりは、お調子者の私もさすがに反省した（これは後悔ではない）。そして、すべてはここからはじまった。

「大学でこれだけはやった」と

いえるものが急にほしくなった。しかし、世の中それほど甘くない。なにしろ手持ちの知的能力ときたらほぼゼロである。その結果、大学で学び始めるものに集中すれば挽回できるかもしれない、という安直な結論に至った。そこでまずあらゆることにハマルふりをし始めた。「ふり」をすることで自己暗示をかけようというわけである。とはいえ、その効果は一向にあらわれない。

しかし、「下手な鉄砲も数撃てば当たる」とはよくいったもので（むろん撃たなくては当たらない）、これはいけそうだと思うものがあった。ドイツ語である。こればかりはのめりこんだ。ハマルふりをしていたのが、本当にハマってしまったわけだ。

思えば不思議なものである。織物業を生業とする両親の下で育っ



ハンブルクにて

た私の環境はドイツとは無縁であった。そう、大学とは未知なるものと出会う「すばらしい機会」を与えてくれる場なのだ。それを生かすも殺すもあなた次第。未知のものは魅力的であり、恐ろしくもある。でも「逃がさないで、逃げないで」チャレンジしてほしい。そうすることで、あらたな可能性が生まれ、少しは後悔が減るかもしれない。

(ひろかわ ともき)
(講師 ドイツ文学)

人 事

学長再任

[大谷大学長 (第26代)
兼大谷大学短期大学部学長]
教授 木村 宣彰
(任期は2010年3月31日迄)
2008年4月1日付

部局長の交代

[学監兼文学部長]
大内 文雄
(前学監兼文学部長 草野 顕之)
[大学院文学研究科長]
小谷信千代
(前大学院文学研究科長
ロバート F. ローズ)
[短期大学部長]
一色 順心
(前短期大学部長 藤本 芳則)
[学生部長]
木越 康
(前学生部長 佐賀枝夏文)
[真宗総合学術センター長]
乾 源俊
(兼真宗総合研究所長)
(前真宗総合学術センター長
兵藤 一夫)
[入学センター長]
宮崎 健司
(前入学センター長 水島 見一)
2008年4月1日付 (各通)

館長などの交代

[図書館長]
ロバート F. ローズ
(前図書館長 大内 文雄)
[人権センター長]
谷 眞理
(前人権センター長 藤嶽 明信)
[博物館主事]
平野 寿則
(前博物館主事 宮崎 健司)
[総合研究室主任]
宮下 晴輝
(前総合研究室主任 沙加戸 弘)
2008年4月1日付 (各通)

退職・解任

定年退職
[教育職員]
佐々木令信 (教授・文学部)

白館 戒雲 (教授・文学部)
友田 孝興 (教授・文学部)
中川皓三郎 (教授・短期大学部)
西田 潤一 (教授・文学部)
宮川 清司 (教授・文学部)
礪波 護 (特別任用教授・文学部)
長谷 正當 (特別任用教授・文学部)

契約期間満了による退職

[教育職員]
皇 紀夫 (特別任用教授・文学部)
新美 秀和 (任期制講師・文学部)
稲垣 淳央 (任期制助教)
小澤 千晶 (任期制助教)
神崎 宣次 (任期制助教)
斉藤 研 (任期制助教)
清水 智樹 (任期制助教)
中田英利子 (任期制助教)
藤田 義孝 (任期制助教)
[事務系嘱託]
草野 世理 (教育研究支援部)
佐竹 由妃 (教務部)
澤田あき子 (学生支援部)
段 敦子 (教育研究支援部)
前田 千尋 (教育研究支援部)
松宮佐和子 (教育研究支援部)

[寮監]

福島 重 (貫練学寮)
吉田 環 (自灯学寮)

[学生相談員]

西澤伸太郎
2008年3月31日付 (各通)

依願退職

[事務職員]
松浦 弘智 (教育研究支援部)
2008年3月31日付

[事務系嘱託]

川勝 直子 (教育研究支援部)
2007年12月31日付
野間 淳子 (教務部)
2008年1月31日付
佐々木玲加 (教育研究支援部)
2008年2月29日付

[寮監]

一澤 美帆 (自灯学寮)
2008年3月31日付

新規採用

[教育職員]
池田 佳和 (教授・文学部)
加藤 丈雄 (教授・文学部)

谷 眞理 (教授・文学部)
脇中 洋 (教授・文学部)
岩渕 信明 (准教授・文学部)
鈴木 寿志 (講師・文学部)
西村 美紀 (講師・短期大学部)
宮川 清司 (特別任用教授・文学部)
児玉 暁洋 (客員教授)
皇 紀夫 (客員教授)
礪波 護 (客員教授)
青木 玲 (任期制助教)
井内 真帆 (任期制助教)
古谷 伸子 (任期制助教)
堂菌 淑子 (任期制助教)
西尾 浩二 (任期制助教)
藤井 政彦 (任期制助教)
宮本 浩尊 (任期制助教)
[事務職員]
鈴木 善幸 (教務部)
寺本 真悠 (学生支援部)
[事務系嘱託]
石浦みずえ (教育研究支援部)
木戸 千紘 (教務部)
杉江かおり (教育研究支援部)
濱口 映子 (教育研究支援部)
藤森 麻子 (教育研究支援部)
村本 綾子 (学生支援部)
[寮監]
香月 拓 (貫練学寮)
メ田麻祐子 (自灯学寮)
森 万里子 (自灯学寮)
[就職アドバイザー]
佐藤 恵
2008年4月1日付 (各通)

昇 格

[教授]
浅見直一郎 (文学部)
関口 敏美 (文学部)
松川 節 (文学部)
水島 見一 (文学部)
山野 俊郎 (短期大学部)
[准教授]
志藤 修史 (文学部)
柴田みゆき (短期大学部)
東館 紹見 (短期大学部)
古川 哲史 (文学部)
2008年4月1日付 (各通)

新任教職員の紹介

①略歴 ②専門分野(所属)



教授
(文学部)
池田 佳和
(いけだ よしかず)

①1969年5月東京大学工学部電気工学科卒業。1971年3月東京大学大学院工学系研究科(電気工学専攻)修士課程修了。元KDD(株)執行役員。元日本インターネットエクスチェンジ(株)社長。元(株)アッカネットワークス執行役員副社長。元東京工業大学大学院理工学研究科特任教授(21世紀COEプログラム)。前国立情報学研究所客員教授。前日本女子大学非常勤講師。

②情報通信工学



教授
(文学部)
加藤 丈雄
(かとう たけお)

①1978年3月信州大学農学部林学科卒業。1982年3月大谷大学文学部文学科卒業。1985年3月京都大学大学院文学研究科修士課程ドイツ語学ドイツ文学専攻修了。1987年3月京都大学大学院文学研究科後期博士課程ドイツ語学ドイツ文学専攻中途退学。2006年11月博士(文学)(京都大学)。元佐賀大学教養部助教授。前京都府立大学文学部文学科准教授。前京都府立大学大学院文学研究科担当。

②ドイツ文学



教授
(文学部)
谷 眞理
(たに しんり)

①1972年3月大谷大学文学部真宗学科卒業。1978年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程真宗学専攻満期退学。元真宗大谷派同和推進本部委員。前大谷大学短期大学部非常勤講師。

②真宗学



教授
(文学部)
脇中 洋
(わきなか ひろし)

①1986年3月京都大学農学部卒業。1996年3月立命館大学大学院文学研究科博士後期課程(心理学専攻)満期退学。元京都市児童福祉センター診療療育課心理判定員(非常勤)。元花園大学社会福祉学部非常勤講師。前佛教大学通信教育課程非常勤講師。前花園大学文学部教職課程教授。前京都大学大学院教育学研究科非常勤講師。

②心理学



准教授
(文学部)
岩渕 信明
(いわふち のぶあき)

①1970年京都教育大学教育学部第1社会科学科卒業。元京都市立小学校教諭。元京都市教育委員会指導部地域教育専門主事室副室長。元大阪成蹊短期大学非常勤講師。前京都市立北白川小学校校長。

②教育学



講師
(文学部)
鈴木 寿志
(すずき ひさし)

①1989年3月山口大学理学部地質学鉱物科学科卒業。1995年3月京都大学大学院理学研究科博士課程修了。1995年3月博士(理学)(京都大学)。元日本学術振興会特別研究員(PD)。山形大学理学部助手。元京都大学総合人間学部非常勤講師。元オーストリー国レオーベン大学研究助手。前(有)地質調査グループGEO・TEC地質部部長。前大谷大学非常勤講師。

②地質学



講師
(短期大学部)
西村 美紀
(にしむら みき)

①1996年3月神戸女学院大学家政学部児童学科卒業。2002年9月奈良女子大学大学院人間文化研究科比較文化学専攻(教育学)。博士後期課程満期退学。2004年5月英国ケンブリッジ大学大学院教育学研究方法論コース修士課程修了。元奈良女子大学文学部人間行動科学科助手。元種智院大学非常勤講師。前種智院大学特任講師。前大阪経済法科大学非常勤講師。前東大阪大学非常勤講師。前奈良女子大学非常勤講師。

②教育学



任期制助教
青木 玲
(あおき れい)

①2003年3月大谷大学文学部真宗学科卒業。2008年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程真宗学専攻満期退学。

②真宗学



任期制助教
井内 真帆
(いうち まほ)

①2000年3月京都橘女子大学文学部歴史学科卒業。2005年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程国際文化専攻満期退学。2008年3月博士(文学)(大谷大学)。元大谷大学真宗総合研究所西藏語文獻研究班研究補助員。元大谷大学真宗総合研究所西藏文獻研究班嘱託研究員。前大谷大学研修員。

②チベット学



任期制助教
古谷 伸子
(こや のぶこ)

①2001年3月中央大学文学部史学科卒業。2008年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程社会学専攻満期退学。
②文化人類学



任期制助教
堂蘭 淑子
(どうぞの よしこ)

①1996年3月京都大学文学部文学科卒業。2003年3月京都大学大学院文学研究科博士後期課程文献文化学専攻中国語学中国文学専修指導認定退学。2006年11月博士(文学)(京都大学)。元京都大学文学研究科研修員。元日本学術振興会特別研究員(PD)。前追手門学院大学非常勤講師。
②中国文学



任期制助教
西尾 浩二
(にしお こうじ)

①1997年3月金沢大学文学部行動科学科卒業。2007年3月京都大学大学院文学研究科博士後期課程思想文化学専攻修了。2007年3月博士(文学)(京都大学)。元京都大学研修員。
②西洋哲学



任期制助教
藤井 政彦
(ふじい まさひこ)

①2000年3月大谷大学文学部史学科卒業。2008年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程仏教文化専攻満期退学。
②東洋史学



任期制助教
宮本 浩尊
(みやもと ひろたか)

①2003年3月大谷大学文学部仏教学科卒業。2008年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程仏教学専攻満期退学。前大谷大学真宗総合研究所国際仏教研究班研究補助員。
②仏教学

2008年度 学科主任一覧

[文学部]

真宗学科 水島 見一
仏教学科 ロバートF.ローズ
哲学科 門脇 健
社会学科 安井 喜行

歴史学科 浅見直一郎
文学科 村瀬 順子
国際文化学科 並木 治
人文情報学科 松川 節

[短期大学部]

仏教科 山野 俊郎
文化学科 番場 寛
幼児教育保育科 大城 邦義



事務職員
(書記)
鈴木 善幸
(すずき よしゆき)

①2007年3月大谷大学大学院博士後期課程文学研究科仏教文化専攻課程博士号取得。元大谷大学博物館調査員。

②教務部



事務職員
(書記補)
寺本 真悠
(てらもと まゆ)

①2008年3月大谷大学文学部社会学科卒業。

②学生支援部



事務系嘱託
(教育研究支援部)
石浦 みずえ
(いしうら みずえ)



事務系嘱託
(教務部)
木戸 千紘
(きと ちひろ)



事務系嘱託
(教育研究支援部)
杉江 かおり
(すぎえ かおり)



事務系嘱託
(教育研究支援部)
濱口 映子
(はまぐち えいこ)



事務系嘱託
(教育研究支援部)
藤森 麻子
(ふじもり あさこ)



事務系嘱託
(学生支援部)
村本 綾子
(むらもと あやこ)

響流館の飲食ルールが4月1日から変わります

みなさんは、紙を好物とする虫がいるのをご存じですか。木を食べるシロアリやキクイムシがいるように、木を素材とする紙もまた虫に食べられることがあります。博物館などに展示している資料で真ん中に奇妙な穴の開いた文献がありますが、これは虫に食べられた跡です。また、古い図書館資料のページの端が何かで切り取ったようにギザギザに欠けているのはカビによる被害です。湿度が高くなりカビが繁殖すると、紙はボロボロになり崩れてしまうこともあります。

響流館には、多くの貴重な図書や資料が収蔵されています。響流館に収蔵されている貴重な資料を将来にわたって利用するためには、乾燥、酸化やカビによる劣化、虫

による食害から資料を守る必要があります。

従来、図書館・博物館(飲食とも禁止)、総合研究室(飲料のみ可)などの一般的なマナーに準じた飲食ルールを設けてきましたが、4月1日から改めて響流館内のエリアごとに飲食のルールを設けることとしました。新しいルールでは、館内での食事や、ふたのない容器での飲料の持ち込みはできなくなります。

図書や資料と利用者が共存する環境を作り出すことによって、貴重な資料を未来の学生や研究者に受け渡すという趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

(教育研究支援部)

響流館の飲食ルールが4/1から変わります。

響流館に収蔵されている貴重な資料を将来にわたって利用するためには、乾燥、酸化やカビによる劣化、虫による食害から資料を守る必要があります。

紙魚(しみ)やゴキブリなど、紙や木を食べる虫から資料を守るためには、虫のエサとなる飲食物を遠ざける必要があります。

そのため下記のMAPのように、エリアごとに飲食ルールをもうけることにいたしました。

4/1からは、館内での食事や、ふたのない容器での飲料の持ち込みはできなくなります。ご協力いただきますようお願いいたします。

響流館飲食ルールMAP

大谷大学

本学卒業生が写真取材報告会を開催

2月9日(土)、メディアホールにおいて、本学文学部仏教学科を1997年に卒業された岸野亮哉さんが、写真取材報告会を開催されました。岸野さんは、現在、実家の浄土宗西山禅林寺派専修寺で法務に従事しながら、岸野写真事務所を設立し、海外で自費取材活動を続けておられます。

今回は、「ビルマ、スリランカ、いま見て欲しい世界がある」とのテーマでこれまで取材を重ねてこ



岸野亮哉氏

られた軍事政権下のミャンマーや内戦の傷跡が残っていたスリランカで撮影された写真を紹介しながら現状を報告されました。

報告会の開催について、岸野さんは「海外取材の動機や目的を知って欲しかったので開催しました。当日のアンケートなどから、そのことは来場者にしっかり伝わったと思います。また、取材を通して学んだこと、お世話になっていた長井健司さんのことも丁寧に話すことができました。写真の道に進もうと決めたのも、仏教に触れたのも大谷大学在学中のことですので、母校で報告会を開催しました

ことには格別の意味があります。主催してくださった大谷大学同窓会、後援してくださった大谷大学、NPO法人尋源舎の皆様にご心から御礼を申し上げます。ありがとうございました」と語られました。

(企画室)



写真取材報告会の様子

本学卒業生が写真展を開催

本学文学部哲学科を2005年に卒業された藤崎健太郎さんが、2月12日(火)から17日(日)まで、「ART SPACE 其の延長」(中京区)を会場に写真展「my private fuck」



藤崎健太郎氏

を開催されました。

藤崎さんは本学を卒業後、2006年から単身でタイに渡り、バンコクにおいて娼婦や同性愛者らと共に暮らしながら、様々なスラムの様子を撮影されてきました。今回の写真展では、バンコクでの日常生活において、そこで生きる人々と藤崎さん自身とのプライベートな関係をテーマとしており、そこでは必然の中から撮らざるを得なかった人間のリアルな面が浮き彫りにされています。

今回の写真展について、藤崎さんは「ネガティブな被写体を選んでいるようですが、写真行為そのものがポジティブであり、自身が

リアリティを感じる方向に進むことで世界からの反応を得られるのなら、これほど大切なことはないと考えています」とおっしゃっています。藤崎さんの今後ますますのご活躍が期待されます。

なお、今回の作品は藤崎さんのサイト (<http://www.flickr.com/photos/unrelax/>) からご覧いただけます。(企画室)



写真展会場

「TOP企業博」のイベントリーダーとして本学学生が活躍



イベント企画会議の様子

12月21日(金)、大阪ヒルトンプラザウエストを会場に開催された合同企業説明会「TOP企業博」(主催:ザメディアジョン)におきまして、瀬尾理江さん(哲学科第3学年)が、学生リーダーとしてイベントの企画から運営等全般にわ

たって活躍されました。

瀬尾さんは、主催のザメディアジョンにイベントインターンシップとして登録を行い、2007年8月の企画の立ち上げ時から、サブリーダーとして活動を行っていました。10月からは40名程からなるイ

インターンスタッフのリーダーに就任し、企業博だけでなく、すべて学生の企画による懇親会「HOP STEP 本気(マジ)会」の開催に向けて統括を行ってきました。

当日は「TOP企業博」には10社の企業が参加し、社長をはじめとする企業の方々と、参加した約300名の学生とが、設置されたブース

において真剣に話し合い、また、その後の懇親会では和やかに歓談が行われていました。

今回の企画において、リーダーを務めたことについて瀬尾さんは「本気で仕事に向き合ったからこそ、そこから仕事に対する情熱や仲間同士の信頼が生まれました。インターンシップを通して最高の仲間ができた

ことが一番の自慢です」と感想を述べられました。(企画室)



参加された企業の社長との名刺交換

本学学生が「第6回京都学生祭典」の実行委員会副委員長に就任

このたび、本学の本田淳一さん(真宗学科第2学年)が、今年の10月に開催される「第6回京都学生祭典」の実行委員会副委員長に就任されました。

京都学生祭典は、企画から運営までのすべてを大学生がプロデュースするお祭り、「学生のまち京都」を象徴する一大イベントです。平安神宮をメイン会場に毎回20万人近くの学生や市民の方々が来場されており、その実行委員には大学コンソーシアム京都の加盟大学から、100名を超える有志学生が参加しています。

今回、副委員長に就任された本

田さんは、昨年の第5回京都学生祭典では、祭典の象徴として作られたオリジナル創作みこし「京炎みこし」のプロジェクトリーダーを担当し、イベントを盛り上げる際にたいへん活躍されました。

本田さんは、「第6回京都学生祭典」の成功に向けて、「私は、第1学年から実行委員として活動してきました。そして今回、副実行委員長に就任したことで、もっと広い視野を持って祭典を見ていくことができたらと考えています。本祭までの期間を悔いの残らないように過ごしたいです」と抱負を語られました。

現在、京都学生祭典実行委員会では、実行委員の募集を行っています。本田さんたちといっしょに京都学生祭典を盛り上げたいと思う方は、京都学生祭典ホームページ(<http://www.kyoto-gakusei-saiten.com/>)まで。

(企画室)



打ち合わせの様子(中央が本田さん)

実習懇談会を開催

12月22日(土)に、本学博綜館第1会議室において、実習懇談会(教育実習(幼稚園)・保育実習・社会福祉援助技術現場実習)を開催し、幼稚園、保育所、その他の社会福祉施設などで実習でお世話になっている先生方50名(40施設)をお迎えしました。

第1部の全体会では、木村宣彰学長の挨拶に引き続き、幼児教育

保育科・徳岡博已准教授より「教育実習、保育実習についてアンケートから見えるもの」というテーマで実習報告があり、次に社会学科社会福祉学コース・安井喜行教授より、社会福祉士の制度改革に伴う養成課程や実習の動向についての報告を行い、本学の実習指導に対するご理解を深めていただきました。また第2部では分科会に

分かれ、本学学生の実習状況や実習訪問のあり方など、現場の先生方の貴重なご意見をお聞かせいただきました。

その後第3部として、学内食堂において懇親会が開かれ、和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。

(実習支援センター)

尋源館が近代建築物として紹介される

このたび、国の登録有形文化財である本学の尋源館が、『歴史を語る産業遺産・近代建築物 京都の近代化遺産』(淡交社)、『近代

建築散歩 京都・大阪・神戸編』(小学館)の両書籍において紹介されました。

尋源館は1913(大正2)年の竣工

で、現在は教室や事務室として使用しているほか、尋源講堂では、朝の勤行が行われています。その造りは、独特な雰囲気を持つ階段

や車寄せ部分等から成り、外部の方から写真撮影や写生会の申し込みが入ることもあります。

書籍では、「昭和五十七年の整備計画で、尋源館は原型のまま保存し、博綜館と噛み合わせる事が検討されたが、法規上の問題から、両翼部をカットした現状の姿となった。」（『歴史を語る産業遺産・近代建築物 京都の近代化遺

産』P.165）と、写真入りでその造りや歴史が紹介されています。

日頃教室として使用している尋源館ですが、これを機に歴史ある建物としてもう一度細部まで見直してみ



てはいかがでしょうか。

（総務課）



佛教文学会本部例会を開催

京都の仏教系大学が中心となって昭和38年に創立された「佛教文学会」本部例会が1月12日(土)、本学第1会議室で開催されました。

研究発表会において、本学任期制助教佐藤愛弓氏の発表「『真言



石川透氏

伝』における仏法と王法」をはじめ、神戸大学助教の久下正史氏、大正大学教授の大場朗氏の興味深い発表がありました。参加した約80名の研究者からは、2時間あまりにわたり、熱心に発表・質疑応答が行われました。

一方、第5会議室で寺院略縁起版本百点の展示が行われ、所蔵者である慶応義塾大学教授の石川透氏が展示図録を配布され、講演の前に略縁起版本百点について見学者に説明されました。

貴重な資料を見学した後、石川

教授の講演「寺社縁起絵巻と略縁起」を1時間聴講しました。忙しい時期にもかかわらず、数多くの方々が参集し、熱心に聴講され、充実した会となりました。

（石橋 義秀）



略縁起版本展示の様子

Beyond — 画像処理演習成果発表会を開催

1月16日(水)、人文情報学科の画像処理演習の成果発表会がメディアホールで開催されました。この演習は人文情報学特殊演習3・4として開講されており、パソコン用画像処理ソフトの使い方を学びつつ、実際の現場で必要とされる画像処理能力と統合的な視覚化能力の獲得をめざすものです。毎年その最終成果として、テーマに沿



ギャラリーに展示された作品

ったポスターを制作し、響流館ギャラリーに展示します。作品制作にあたっての指導は、京都を基盤として世界的に活躍しているマルチメディアクリエイターの伴宙先生にお願いし、プロの現場で通用するために何が必要とされるかを、厳しく丁寧に指導いただいています。6回目を迎える今年の統一テーマは「Beyond」(向こうへ)。現状を越え、未来へ、過去へ、異界へ飛翔しようとする26人の作品が展示されました。

成果発表会では、学生が作品に込めた思いについてプレゼンテーションを行い、その中から入賞三作品を表彰しました。今回グランプリを獲得したのは倉田絢羽さん

の「色恋将棋」でした。「片思いの恋はどう転ぶかわからないところがあり、次の一手は無数にある」



グランプリ作品

ことを将棋盤で表現したもので、「どれだけ甚振られても、その先にはようやく待ち望んだ幸せがある。恋をした女の子のパワーは計り知れない。そんな作品」をめざ

したとのことです。なお、第2位は佐藤亮太さんの「The Evolution is the degeneration」、第3位は羽根将彦さんの「Driving Pleasure」でした。また、ギャラリー展示に

つについては京都新聞（1月11日付朝刊）において紹介されました。

（人文情報学科）

留学生文化交流会を開催

2007年度第2回留学生文化交流会を2月2日(土)に開催し、外国人留学生7名を含む、27名の学生が参加しました。

はじめに、京都市勧業館みやこめっせ（京都市左京区）の工芸実技室を会場に、漆工芸（蒔絵）体験をしました。本物の漆の代わりに、漆に似た材料でかぶれる心配のない、カシューという塗料を用いて、筆で角盆に絵を描きました。筆を手前に引く方法で絵を描くのが難しく、参加者は、練習用の紙に何度も線を引き、線の太さやカシューのつき具合はこれでよいのかと、ご指導いただいた職人の方に確認していました。カシューが

乾いた後、その上に職人の方が金粉を蒔いてくださると、絵が金色になり、黒い角盆に映えて、参加者は歓声をあげました。

次に、館内の施設である「京都伝統産業ふれあい館」の常設展示場にて、京都の伝統的工芸品約450点を見学しました。そこでは、今回、留学生の指導教員として参加



蒔絵体験の様子

された沙加戸弘教授の作品解説を、熱心に聞き入る学生たちの姿も見られました。

最後に、懇談会場として、喜さ起（京都市左京区）に移動しました。湯豆腐を囲みながら、親睦を深め、有意義な一日となりました。

（学生課）



懇談会での記念撮影

大谷大学教育後援会勤労学生表彰奨学金が贈られる

このたび、勤労学生表彰奨学金が5名の学生に贈られました。この奨学金は、大谷大学教育後援会が学生生活支援の一環として設立した制度で、家庭からの就学援助が皆無に等しく、学費や生活費のほとんどを奨学金やアルバイトにより支弁している者で、なおかつ人物、学業共に他の学生の模範と

なる勤労学生に対して支給されるものです。

表彰式は、2月22日(金)、尋源講堂にて執り行われ、頼尊聖教育後援会会長より一人ひとりに表彰状と奨学金（8万円）が贈られ、労いと励ましの言葉が述べられました。

（校友センター）



表彰式の様子

中尾隆志さん、勤労学生表彰をうける

去る3月3日(月)に同志社大学寒梅館において勤労学生援助会による勤労学生表彰・奨学金授与式が行われ、本学からは中尾隆志さん（幼児教育保育科第1学年）が表彰を受けました。

勤労学生援助会は働きながら学ぶ学生の支援団体として、1966(昭

和41)年に設立された団体です。中尾さんは、学費と生活費を日本学生支援機構奨学金と本人のアルバイト収入でまかない、家計を助けながら学生生活を送っています。課外活動にも積極的に取り組んでおり、軽音楽部での活動や、オープンキャンパスのスタッフとして



表彰式の様子

も活躍し、充実した学生生活を過ごしています。このたびその努力が評価され表彰状と奨学金が授与

されました。
働きながら学業や課外活動などを両立させ、努力している勤労学

生の今後の活躍が期待されます。
(学生課)

大学開放事業として大津市の子育て支援サークルに協力

3月4日(火)、湖西キャンパスセミナーハウスを会場に、地元の子育て支援サークル「さくらんぼクラブ」が主催する餅つき大会が開催されました。

これは仰木の里地域住民の方々への大学開放事業の一環として、本学が協力しているもので、地域の子どもたちと保護者の方、約40人が参加しました。

今回も本学から児童文化研究会が協力を依頼され、歌や人形劇を上演しました。斎藤駿児さん(おおかみ)、池島真梨子さん(あんこ)、田中恵理さん(ひよこ)、中村慎也さん(つばめ)の演じる人形劇に子どもたちは大喜びで、上演が終わってからも一緒に遊んでいました。

青空の下で行われた餅つき大会

では、子どもたちは保護者の方が振るう杵や、臼のなかでもち米がお餅に変わっていくさまに驚いた様子でした。また子どもたち自身も餅つき体験をし、自分たちがついたお餅をおいしくいただきました。

児童文化研究会の池島真梨子さん(哲学科第1学年)は、今回の参加について「今年は、児童文化研究会の部員から4名が参加しました。最初の頃は、子どもたちは、



人形劇に夢中の子どもたち

恥ずかしいのか保護者にくっついて離れないのですが、ゲームやお餅つきを通して徐々に馴染むことができました。お腹いっぱいお餅を食べた後は、子どもたちと一緒に走り回っているのですが、子どもの元気さには改めて驚かされます。来年もまた、子どもたちとお餅つきができることを部員一同楽しみにしています」と話してくれました。

(教育研究支援課)



杵をふるう中村さん

大谷幼稚園でオペレッタを上演

3月7日(金)、大谷幼稚園の「3月のお誕生会」におきまして、幼児教育保育科第1学年の学生が、オペレッタ「金のがちょう」と「ふしぎの国のアリス」を上演しました。

大谷幼稚園では毎月、園児のためにお誕生会を開いており、3月は本学幼児教育保育科の学生が、



金のがちょう

「音楽Ⅱ」の授業において学んできた成果の発表の場として5年前から参加させていただいています。

「音楽Ⅱ」の授業では、今回4つのグループを作り、それぞれがオペレッタの演目を選び、アレンジを加えて趣向を凝らし、練習を積み重ねてきました。そして、1月にその集大成として、講堂において発表会を行い、そこからさらに演技に磨きをかけて今回の上演となりました。

今回、「金のがちょう」のリーダーを務めた片岡美沙さんは、オペレッタ終了後の感想として「最初は歌も歌えず、まとまりもなかったのですが、練習を重ねるうち

に気持ちが高まってきて、みんなでまとまることができました。子どもたちの前ではじめて演じたのですが、おもしろがるポイントが違って戸惑いました。改善を行って秋の上演に向けてがんばります」と語ってくれました。

(企画室)



ふしぎの国のアリス

課程博士の学位を授与

本学ではこのたび、博士後期課程修了者7名に、博士（文学）の学位を授与しました。学位取得者は、義盛幸規（真宗学）、富岡量秀（真宗学）、大野僚（哲学）、富積厚文（哲学）、伊久留睦（仏教文化）、清水智樹（仏教文化）、井内真帆（国際文化）の各氏です。

（教務部）



2007年度同窓会学生支援表彰「菩提樹賞」が贈られる

同窓会学生支援表彰「菩提樹賞」の表彰式が2008年3月18日（火）、卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会において執り行われ、藤島建樹同窓会会長から2007年度表彰者2名に表彰状ならびに記念品が贈られました。

この「菩提樹賞」は、学術・文化・スポーツ、ボランティア活動などの分野で、顕著な成績や多大な成果を収め、大谷大学の発展に貢献した学生または課外活動団体を表彰し、学生生活の充実に資することを願い、同窓会が発足させた学生支援の制度です。

2007年度「菩提樹賞」受賞者

◎難波 教行（大学院修士課程真宗学専攻 2008年3月修了）
自叙伝『たとえば、人は空を飛びたいと思うー難病ジストニア、奇跡の克服ー』（2007年4月20日 講談社刊）の出版

◎坂本 英之（文学部史学科 2008年3月卒業）
2007年京滋大学野球連盟春季リーグ戦において、「最優秀投手賞」を受賞

（校友センター）



『文藝春秋』誌コラム執筆者紹介

仏教を基盤とする本学では、幅広い年齢層が購読する『文藝春秋』誌にコラム「生活の中の仏教用語」を掲載しています。大学での教育

研究の一端を紹介するものであり、読者からも高い評価を得ています。今年度ご執筆担当の先生方は次のとおりです。

- 木村宣彰教授（学長・仏教学）
- 沙加戸弘教授（国文学）
- ロバート F. ローズ教授（仏教学）

※CAMPUS☆TOPICSに掲載している学生の学年は2008年3月現在のものです。

2008年度 新入生歓迎イベント

若葉祭

開催日：4月5日(土)

大谷大学では毎年、新入生歓迎イベント「若葉祭」を開催しています。

若葉祭には、多くのクラブ・サークルが参加し、ライブや新入生歓迎ビンゴ大会のほか、作品展示を行います。この機会に、ぜひ大谷大学のサークル活動に触れてください。

当日は、至誠館前の本部テントにて、パンフレットの配布も行っていますので、ぜひ立ち寄ってください！

皆様のご来場、お待ちしております！！

サンクンガーデン特設野外ステージ イベントスケジュール

- 12:00 オープニング
- 12:05 軽音楽部ライブ
- 12:30 ジャズ研究会ライブ
- 12:55 フォーク研究会ライブ
- 13:20 NOJ ニュー・オオタニ・ジャズ
サークルライブ
- 13:55 吹奏楽団ライブ
- 14:30 学園祭実行委員会主催 企画
- 15:15 尺八部・箏曲部ライブ
- 15:40 男声合唱団ライブ
- 16:05 京都学生祭典主催 企画
- 16:30 ギター部ライブ
- 16:50 アメリカ民謡研究部ライブ
- 17:20 新入生歓迎実行委員会主催
ビンゴ大会
- 17:55 エンディング
- 18:00 若葉祭終了

※当日、スケジュールの変更がある場合があります。

※雨天時は、講堂にて行います。



展示教室一覧

1号館

- 1階 1101教室 落語研究会
- 1112教室 TRPG同好会
- 2階 1200教室 アメリカンフットボール部
- 1202教室 民俗学研究会
- 1204教室 漫画研究部
- 1205教室 美術部
- 1206教室 大谷文芸
- 1207教室 SF研究会
- 1208教室 書道部
- 1209教室 映画研究部
- 1211教室 飛行研究会
- 1213教室 写真部

尋源館

- 1階 J101教室 ギター部
- J102教室 尺八部・箏曲部
- J103教室 大谷弦楽アンサンブル
- J104教室 男声合唱団



本学における個人情報の取り扱いについて

本学が保有する学生諸君の個人情報には、氏名のような、そのみで特定の個人を識別できる情報以外にも、生年月日・住所・電話番号・電子メールアドレス・印鑑の印・性別・学生番号・成績・人物評価・聴講登録のように、個人の属性、所有物や関係事実等を示す情報によって、その個人の氏名等が容易に照合でき、特定の個人を識別することができるものがあります。個人情報保護法のもとでは、それらの全てが保護すべき対象となります。

本学では「個人情報保護に関する規程」により個人情報の保護に努めるべく、業務の取り扱いには十分慎重を期すように取り組んでいます。本学のような教育機関にあつては、保有する個人情報のほとんどが学生等に関する情報であり、個人情報の漏えい、滅失等があった場合、社会的に与える影響はたいへん大きいものになります。したがって、そのような事態が起こらないように、日頃から適切な対応を心がけております。

なお、本学が保有する個人情報の主な項目例、並びに利用目的や情報開示に関する取り扱いについては、以下に示すとおりです。

1. 保護の対象となる個人情報の項目例

(1) 在学生

身元・身上情報、学歴・学位情報、保証人情報、家族・親族情報、健康管理・医療情報、金融・信用情報、社会保険情報、学籍情報、履修・成績情報、学費納入情報、求職・進路指導情報、調査書情報、進路先・勤務先情報、奨学生（応募）情報、課外活動情報、施設設備利用情報、図書館利用情報、賞罰情報、免許資格情報、コンピューター利用情報

(2) 本学を離籍した学生等及びその保証人、父母、家族並びに親族

身元・身上情報、学歴・学位情報、保証人情報、家族・親族情報、健康管理・医療情報、金融・信用情報、社会保険情報、学籍情報、履修・成績情報、学費納入情報、進路指導情報、進路先・勤務先情報、奨学生（応募）情報、課外活動情報、図書館利用情報、賞罰情報、免許資格情報

(3) 在学生等の保証人、父母及び家族又は親族

身元・身上情報

2. 個人情報の利用目的について

(1) 本学は、学生諸君に係る上記の個人情報を、教育・研究を遂行するための業務に利用します。

(2) 本学は、学生諸君に係る上記の個人情報を、事務上の連絡、アンケート、調査等を目的に、電話、郵便、宅配便、電子メール、その他の手段により、必要事項を本人及び保証人に告知、送付するために利用します。

(3) 本学は、学生諸君に係る上記の個人情報を、大谷大学情報ネットワークシステム（OUNET）、学生向け情報提供システムのセキュリティを維持するために利用します。

(4) 本学は、学生諸君に係る上記の個人情報を、本学の教育・研究の自己点検、教育課程の開発、施設設備の利用状況の把握及び改善に役立てるために、コンピューター等を利用した統計・分析に利用する場合があります。

(5) 本学は、学生諸君に係る上記の個人情報を、本学が委託された調査、アンケートへの回答を目的に、コンピューター等を利用した統計・分析に利用する場合があります。但し、この場合本学から第三者に対して個人情報を提供することはありません。

(6) 本学が取得した個人情報の利用は、取得の際にあらかじめお知らせした範囲内に限るものとし、その目的以外の用途には利用しません。

3. 委託及び共同利用に関する事項

本学は、業務の遂行上、業務の全部又は一部を委託する場合、個人情報の守秘義務の管理、監督を含む契約を結ぶことにより、個人情報の安全管理措置を遵守して利用します。また、利用目的の範囲内で、大谷大学教育後援会及び大谷大学同窓会と個人情報を共同して利用する場合があります。

(1) 大谷大学教育後援会

学生諸君の個人情報として提供された保証人の名前、住所、連絡先については、本学が保有し、保証人により構成される教育後援会の活動を目的として同会が実施する『大谷大学通信』の送付、同会の案内送付のために利用する場合があります。

(2) 大谷大学同窓会

学生諸君の個人情報のうち、氏名、住所、電話番号（以上、卒業後に変更されたものを含む）、学生番号、性別、生年月日、卒業年月、入学年度、指導教員、学部学科分野研究科専攻、所属クラブについては、大谷大学同窓会と共同して保有し利用します。

4. 開示に関する事項

本学は、学生諸君の個人情報をできるだけ正確かつ最新の内容で管理します。本人から申し出があったときは、本学が保有する個人情報の開示を行います。また、内容が正確でないなどの申し出があったときは、その内容を確認し必要に応じて個人情報の追加、変更、訂正または利用の停止を行います。

5. 開示受付窓口

個人情報の開示は、個人情報の各管理窓口（教務部、学生課、進路就職センター、入学センター、教育研究支援課、図書・博物館課等の事務窓口）で受け付けます。開示には、時間がかかる場合があります。各窓口でお尋ねください。

個人情報の開示には、手数料がかかります。開示内容によっては、実費を請求する場合があります。

「個人情報保護に関する規程」は、本学のホームページ上に掲載されています。必ずお読みください。

国際交流トピックス

一度は海外で学んでみませんか？

2008年度

国際交流科目〈海外研修〉のお知らせ

教務部

今年度の国際交流科目を次の通り開講します。履修希望者は『履修要項』『授業概要(シラバス)』を読んだうえで、4月のオリエンテーション期間に開催される[国際交流科目説明会【語学研修(英語、中国語、韓国・朝鮮語)・文化研修(インド、中国、ドイツ)】]に必ず出席し、予備登録をしてください。履修希望者多数の場合は選考になります。なお、国際情勢によっては、皆さんの安全確保のため中止にすることや、現地事情により日程他を変更することもありますので、留意してください。

海外語学研修

中国 首都師範大学短期中国語研修 (中国文化事情・実践中国語2)

今回の研修は約3週間北京市の首都師範大学で行われます。首都師範大学は北京にある名門校のひとつで、歴史も古く多くの人材を輩出している重点大学です。教育システムも先進性に富み留学生の教学内容も充実しています。

場所は北京市の西北部に位置し市の中心部にも近く、天安門広場や王府井(北京一の繁華街)にも気軽にでかけることができます。大学付近にはレストラン、コンビニ、本屋さん等たくさんのお店がありますから、生活する上で必要なものはいつでも買うことができます。お店に入って店員さんと中国語でやりとりするのも日本では味わえない体験のひとつと言えます。

研修は午前中ネイティブの先生による授業が行われます。授業はすべて中国語ですが、ジュエチャーを交えて初心者にもわかりやすい中国語を使って行われますし、日本では得難い学習環境の下、着

実に中国語の力を身に付けることができます。

授業以外にも、太極拳、餃子作り、京劇鑑賞等の催しがあり伝統的な中国文化にも触れることができます。

午後は基本的に自由時間となります。休息や授業の予習復習の他、観光、鑑賞、北京ダックなど名物料理の食べ歩き、買い物等各自自由な時間を楽しむことができます。北京市内は名所旧跡の宝庫ですから計画を立てて回れば、「百聞不如一見(百聞は一見に如かず)」のことわざ通り、有意義な時間となるでしょう。

週末には世界遺産である明の十三陵や万里の長城への見学が用意されています。

北京での研修終了後は中国経済の中心都市上海を訪れ、買い物や観光などを楽しみます。滞在は3日間の予定ですが、北京とは違った魅力を感じることができるでしょう。

今夏、北京ではオリンピックが開催されます。このような記念すべき年に北京に滞在することは、中国語の力を伸ばし、中国文化に触れるという研修本来の目的が達成されるだけでなく、これまでにない北京の新しい姿が見られる絶好の機会であり、貴重な経験、かつ一生の思い出となるに違いありません。

現地研修 8月3日(日)

～8月29日(金)予定

定員 30名
費用 25万円(予定)
滞在 大学寮、ホテル



授業風景

韓国 東西大 短期韓国語研修 (韓国文化研究・実践韓国語)

韓国東南の国際港であるプサンの東西大で3週間、午前中に韓国語を現地の先生から学び、午後は韓国文化の授業になります。韓国語を学びながら韓国の伝統的な音楽やキムチ作り、伝統工芸制作などを体験します。また、例年のように東西大の学生がパートナーとなり、土、日曜日などの時間を利用して学生間の交流も行う予定です。

3週間の東西大での授業終了後は、韓国の世界文化遺産所在の各地や、日本とのゆかりが多い地域をバスで見学し、ホテルに宿泊します。この期間に、習い覚えた韓国語を実体験する時間にあてて、各自が実践韓国語を体験してほしいと思います。

現地研修 8月6日(水)
～9月1日(月)予定
定員 30名

費用 28万円 (予定)
滞在 大学寮、ホテル



東西大 大学寮

英国 キール大学 短期英語研修 (イギリス文化研究・実践英語)

キール大学はイギリス中部の自然環境に恵まれた広大なキャンパスを持つ大学です。研修には、現地教員のもとで英語及びイギリス文化を学ぶ授業の他に、陶磁器で有名なウェッジウッドの見学や、チェスター、リバプール、オックスフォード、ストラットフォード・アポン・エイボンへの日帰り旅行などが組み込まれており、イギリスを思う存分体験することが

できます。滞在中、前半はホームステイ、後半は寮に宿泊の予定です。

キール大学での研修終了後は、ロンドンに数日間滞在して帰国します。

現地研修 8月10日(日)
～9月4日(木)予定
定員 25名
費用 55万円 (予定)
滞在 大学寮、ホームステイ、ホテル



キールホールの前で

海外文化研修

インド仏教遺跡研修 (インドの宗教と文化)

仏教が誕生したインドの大地に立ち、インドの宗教や文化に触れることを目的とした研修です。とくに「仏教の四大聖地」と呼ばれ、多くの人々を引きつけてきた、釈尊誕生の地ルンビニー、成道の地ブッダガヤー、初転法輪の地サルナート、入滅の地クシーナガラを訪れるのが研修の中心です。また、祇園精舎、王舎城などの仏教遺跡、さらには、ガンジス河のガートで知られる聖地ベナレス、世界遺産タージ・マハル廟などを訪れます。

事前講義を受講したうえで、15日間の研修旅行に参加して頂くことになります。インドは、奥深い伝統を保持する反面、急激な経済成長を遂げ、様々な点で飛躍的な発展を続けています。そのようなインドの文化世界を体験する貴重な機会として毎年多くの参加者を得てきました。今年度も、学年・学科問わず、どなたでも登録可能です。ぜひご参加ください。

現地研修 1班 8月23日(土)～
9月6日(土)予定
2班 8月30日(土)～
9月13日(土)予定

定員 各班40名
(内科目等履修生2名、
単位互換生5名)
費用 31万円 (予定)
滞在 ホテル



ブッダガヤー大塔にて

中国仏教遺跡研修（中国の宗教と文化）

日本の宗教と文化に決定的影響を与えた中国。この研修は、仏教遺跡を中心に中国を実際に訪ねることによって、中国と日本、双方の宗教と文化理解を深めることを目的とします。

中国仏教四大聖地の一つに数えられる五台山や、浄土三祖（曇鸞・道綽・善導）ゆかりの玄中寺、善導の舍利塔が建立されている香積寺など、日本浄土教の源流ともいべき遺跡を訪ねます。また、中国仏教の壮大なスケールと悠久

の歴史を示す中国三大石窟（雲崗・龍門・敦煌莫高窟）を訪れ、途中、世界遺産に指定された始皇帝の兵馬俑坑博物館などにも足を運びます。

短期の研修ではありますが、帰国後の「学び」にも大きな影響を与える旅となるでしょう。

現地研修 9月1日(月)

～9月12日(金)予定

定員 30名

(内科目等履修生2名、
単位互換生5名)

費用 28万円（予定）
滞在 ホテル



敦煌莫高窟にて

ヨーロッパ文化研修<ドイツ>（ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ））

ドイツ語文化圏に焦点をあて、その風土・歴史・言語・宗教・芸術・社会などにさまざまな角度から直接かつ具体的に触れることを目的とした研修です。この体験学習を通して自分の精神世界をより豊かに広げてください。今年度はドイツを中心に、世界遺産をはじめとする文化的な主要都市をめぐる予定です。

現地研修 8月28日(木)

～9月9日(火)予定

定員 30名

費用 37万円（予定）

滞在 ホテル



ノイシュヴァンシュタイン城にて

盗難に注意

学年初めは何かと慌ただしく、ついうっかりとしてカバンなどを置いて席を離れることがありますか。

毎年、大切なカバンや貴重品の盗難にあうことがよく起こります。大学は不特定多数の出入りがありますので、特に食堂・図書館・教

室など混雑する所では注意し、自分の持ち物はしっかりと管理してください。万一、学内で盗難にあった場合、すみやかに学生課へ届けるとともに、キャッシュカード・クレジットカード・携帯電話などはすぐに取引停止の手続きを行い、警察へも届けてください。

また、大学近辺の路上で、自転車に乗っていて自転車の前かごからカバンを盗まれるという引ったくり事件が発生しています。かごに防犯ネットを被せたり、カバンを前かごに固定するなどして防犯対策を心がけてください。

学内・通学中などにケガをしたら

本学の全学生は「学生教育研究災害傷害保険」に加入しています。この保険は、正課授業や課外活動中（試合や合宿を含む）および通学中に負傷し、定められた日数（正課授業で4日、通学中で7日、課外活動で14日）以上にわたり治療を要した場合に保険金が支払わ

れるものです。またキャンパス内での休憩時間中の事故や講義に行く途中に階段を踏み外して捻挫した場合、大学行事に参加していて負傷した場合なども対象となります。

この保険は事故発生から30日以内に大学から保険会社に事故通知

書類を提出する必要があります。事故が発生した場合は、直ちに学生課へ届け出てください。また、授業中のケガは、授業担当教員に必ず報告してください。

詳しい内容のパンフレットは保健室に置いています。

定期健康診断の実施について

オリエンテーション期間中、3月31日(月)・4月1日(火)・2日(水)に定期健康診断を実施します。詳細については受診案内、保健室掲示板および学生課掲示板で確認し、必ず全員受診してください。

教育実習や諸資格取得希望者、進学・就職活動をする学生は、活動時に「健康診断証明書」が必要となります。証明書は健康診断を受けないと発行することができません。

校医による健康相談

博綜館1階にある保健室には、保健師が常勤しています。また、校医による健康相談を毎週水曜日10:45~12:45、婦人科校医による健康相談を第2・第4木曜日11:00~13:00に行っています。

学生相談室

博綜館1階にある学生相談室では、皆さんの悩みや不安の相談に応じています。学業に対する不安、人間関係にまつわる不安、将来の進路に関する不安など、ひとりで悩まずに学生相談室のドアをノックしてください。学生相談室ではカウンセラーがあなたの来室を待っています。

利用の方法は直接来室するか、または直通電話(075-411-8121)を利用してください。なお、相談内容は厳密に守秘されます。

学生相談室は、月曜日から金曜日10:30~16:00に開室しています。(P.36参照)

教務部

聴講登録について

文学部・短期大学部・大学院、全学年ともに4月に前期・後期・集中・通年を含めて1年間の全科目を一括登録します。手続きの期日を確認し、聴講登録をしてください。詳細については『履修要項』を参照してください。

4 月	日	月	火	水	木	金	土	
		3/31	1	2	3	4	5	
			←*1→	←*2→	入学式			
			抽選期間					
	6	7	8	9	10	11	12	
		◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			授業開始					
13	14	15	16	17	18	19		
	▲	▲						
20	21	22	23	24	25	26		
27	28	29	30					
	←*3→	昭和の日						
		☆		☆				

5 月	18	19	20	21	22	23	24
					←*4→		
	25	26	27	28	29	30	

***1**
登録関係書類・履修単位通知書配付日（在学生ののみ） 4月1日(火)
学生証を持参し、書類を受け取ってください。

***2**
登録関係書類配付日（新入生ののみ） 4月2日(水)

◎ オリエンテーション期間 3月31日(月)～4月7日(月) ※日曜を除く
各種の履修や諸課程に関する説明会が行われます。該当の説明会には必ず出席し、分からない点はこの期間中に確認してください。

抽選期間 4月1日(火)～4日(金)
一部の受講生数制限のある科目について抽選を実施します。希望する科目が該当するか確認をし、選択用紙を提出してください。

前期授業開始 4月8日(火)
各自時間割を作成し、第1回目の授業から出席してください。

▲ **聴講登録票提出期間** 4月11日(金)～15日(火) ※土・日曜を除く
(受付時間…9:00～16:30 提出場所…至誠館1階教務部前)
上記の期間に聴講登録票を提出してください。
※提出後の追加・変更はできません。
※コンピュータ処理上、この提出期間を過ぎると登録ができなくなりますので注意してください。

***3**
聴講登録確認票配付日 4月28日(月)
(配付時間…10:00～16:30 配付場所…講堂棟1階ホワイト)

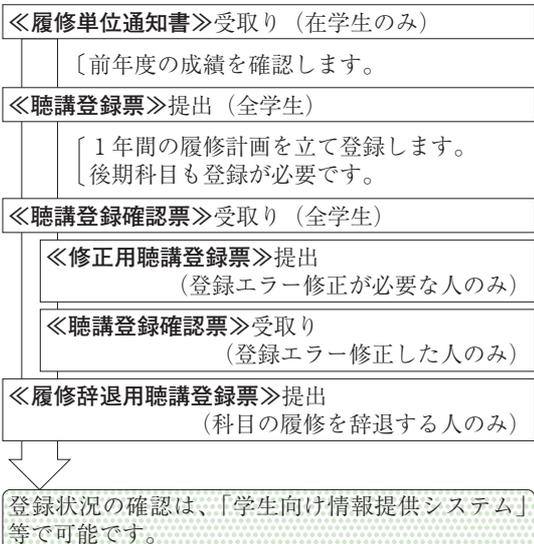
1. 聴講登録確認票を受け取り、下記の点を確認してください。
- ①登録した科目が正しく登録されているか。
 - ②各学年の必修科目を登録し忘れていないか。
 - ③エラーコメントが表示されていないか。
 - ④卒業・修了、進級見込みについて「合格」になっているか。
2. その他、エラーコメントの出ないミス（科目番号やクラスの間違いなど）についても各自で確認してください。
3. 確認後、修正の必要がない場合は、各自、聴講登録確認票を1年間保管してください。

☆ **聴講登録確認期間・登録エラー修正期間** 4月28日(月)～30日(水)
(受付時間…9:00～17:00 受付場所…教務部) ※祝日を除く

1. 登録エラー修正が必要な場合は、この期間中に教務部へ申し出て手続きをしてください。（この期間を過ぎると修正はできません。）
2. 登録エラーをそのままにしておくと、その科目の受講資格や定期試験の受験資格を失います。必ず修正してください。
3. 登録単位数制限オーバーのまま修正をしなかった場合、機械的に科目が選択され、超過分が削除されます。
4. 登録エラー修正後の聴講登録確認票の配付については、修正会場の掲示で日時等の詳細を確認してください。

***4**
履修辞退期間 5月22日(木)～23日(金) ※大学院を除く
履修辞退（科目の取り消し）をすることができます。
ただし、取り消した科目の、代替りの科目の登録をすることはできません。

聴講登録の流れ（前期）



GPA制度の導入について

2008年度より大学院生を除く、文学部（2008年度以降入学・2010年度以降編入学）、短期大学部（2008年度以降入学）の学生を対象にGPA制度を導入いたします。

GPAは、Grade Point Average（グレード・ポイント・アベレージ）の略で、登録した全科目の成

績の平均を数値で表し、学業結果を総合的に判断するものです。

本学では、卒業所要に含まれる全ての科目を対象とし、諸課程科目、「N」評価の認定科目、「履修辞退」した科目等を除きGPAを算出し、そこで出された結果を「履修単位通知書」に表記し学生の皆

さんにお伝えすることになります。

計算方法は、登録した各科目の成績（グレード：S=4、A=3、B=2、C=1、F・K=0）に、その科目の単位数を乗じた数値の総和を総登録単位数で除します。小数点以下第3位は四捨五入。

評価	評点	グレード	判定基準	
合格	S	100~90点	4	特に優れた成績を示したもの
	A	89~80点	3	優れた成績を示したもの
	B	79~70点	2	妥当と認められる成績を示したもの
	C	69~60点	1	合格と認められる最低限の成績を示したもの
不合格	F	59点以下	0	合格と認められるに足る成績を示さなかったもの
評価不能	K	————	0	授業参加や試験について棄権・放棄をしたとみなされ、評価することができないもの

計算式

$$\frac{(S\text{の修得単位数} \times 4) + (A\text{の修得単位数} \times 3) + (B\text{の修得単位数} \times 2) + (C\text{の修得単位数} \times 1)}{\text{総履修登録単位数 (F・Kを含む)}}$$

学生の皆さんには、GPAを利用し成績が算出されることにより、 Semesterごとの学習成果と推移がより明確となり、各自の履修状況の確認が容易になります。しかし、不合格の科目もGPAの算出対

象となりますので、計画的な履修をするよう心がけていくことも必要となります。

また、GPAの結果から皆さんの履修状況の全体を総合的に把握しやすくなるため、これまでに増し

て指導教員からの的確な履修指導を受けることができます。皆さんには、この制度を積極的に活用し成績に関する自己管理と、綿密な履修計画並びに学習意欲の向上を期待しています。

財 務 課

2008年度 前期学生納付金（学費）の納入について

納入期限は4月21日（月）—締切日厳守—です。

前期学生納付金の納入期限は4月21日（月）〈銀行受付日付有効・納入期日厳守〉です。

納入期限までに納入のない場合は、学則により除籍となりますので注意してください。振込依頼書は、保証人宛に3月31日に大学より発送しています。

4月7日頃になっても振込依頼書が届かない場合や紛失、破損した場合には再発行しますので、財務課まで申し出てください。

事情により期限内に納入が困難と予測される場合には、学生課にて学費延納の手続きを4月21日（月）までに行ってください。学費延納

手続きには、「学費延納許可願」（所定用紙）および学費負担者の所得証明書（納税証明書・源泉徴収票等）が必要です。

後期学生納付金の納入期限は9月30日（火）です。後期学生納付金の振込依頼書については、8月末日に大学より発送いたします。

2008年度前期学生納付金一覧		学 費		その他の費用			合 計 額
		授 業 料	施 設 費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	
文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、 歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	516,000
	人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	591,000
大 学 院	修士・博士後期課程 (2006年度以降入学生)	240,000	100,000	1,000	—	15,000	356,000
	修士・博士後期課程 (2005年度以前入学生)	240,000	60,000	1,000	—	15,000	316,000
短期大学部	仏教科・文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	516,000
	幼児教育保育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	526,000

校 友 セ ン タ ー

2008年度 父母兄弟懇談会開催予定

大谷大学教育後援会では在学生の父母兄弟を対象に、毎年本学並びに全国の数地区の都市で「父母兄弟懇談会」を開催しています。懇談会では、大学の教育方針や教

育・研究活動についての現況が報告され、また個々の学生の修学状況や、将来の進路・就職、学生生活の悩み事等について、個別の相談にも応じています。当該地区の

ご父母兄弟の皆さまには、改めてご案内を申し上げます。

なお、2008年度の開催予定は以下のとおりです。

名 称	開 催 日	開 催 地	会 場
奈良地区父母兄弟懇談会	6月15日(日)	奈良市	ホテルフジタ奈良
九州地区父母兄弟懇談会	7月11日(金)	熊本市	ホテルニューオータニ熊本
	7月12日(土)	福岡市	ホテルコムズ福岡
全国父母兄弟懇談会	10月4日(土)	京都市	大谷大学
北陸地区父母兄弟懇談会	12月5日(金)	富山市	オークスカナルパークホテル富山
	12月6日(土)	金沢市	ホテル金沢

図書館

(1) 図書館の利用について

大谷大学図書館には現在約76万冊の図書資料が所蔵されています。論文・レポートの作成や自習などに大いに活用してください。また図書館では次のようなサービスも提供しています。

1. 視聴覚資料（VHSやDVD、CDや衛星放送など）で、外国語の学習や、授業の理解を深めることができます。[1階閲覧室]
2. 学習のためのノートパソコンの貸出をしています。[2階カウンター]
3. 文献・情報の検索を支援する「レファレンス・サービス」や、図書・資料に関する問い合わせを受け付けています。

(2) 図書館ガイダンスについて

4～5月にかけて、基本的な図書館の利用方法を説明する各種ガイダンスを開催する予定です。

内容は書庫なども含めた図書館ツアーや検索端末の使い方などです。開催日など詳細は図書館内の掲示を確認してください。

(3) 図書館Webサービスについて

学内外のパソコンから、以下のWebサービスを受けることができます。

1. 利用者情報…借りている資料の返却期限が確認できます。
2. 貸出予約…貸出中の資料の予約ができます。
3. 文献複写申込…研究や学習に必要な他大学図書館所蔵の文献のコピーを取り寄せることができます（有料）。
4. メールdeお知らせ…貸出手続時と返却期限日3日前に、各個人の大学管理アドレスにお知らせメールが配信されます（携帯電話など別のアドレスの追加登録可能です）。※返却期限については、貸出手続時に発行されるレシートもしくは返却期限日を書いたしおりを必ず確認してください。上記連絡メールは、あくまで補助的なものとして活用してください。

◇Webサービスを利用するためには、図書館用のIDとパスワードが必要です。IDとパスワードは新入学時の前期に配付されます。IDとパスワードが分からなくなった場合は、再発行手続きが必要です。詳細は図書館カウンターまで。

(4) 図書館を利用する上でのマナーについて

- ①図書館の資料は大切に扱ってください。
- ②貸出資料の返却期限は必ず守ってください。期限を過ぎても返却されない場合は貸出停止のペナルティが発生します。
- ③貸出手続をしていない資料を館外に持ち出してはいけません。
- ④貸出中の資料の「また貸し」は絶対にしないでください。貸出資料は必ず本人が責任を持って返却手続きをしてください。
- ⑤他の利用者の迷惑になるような私語・雑談は慎んでください。携帯電話での通話も厳禁です。
- ⑥館内では、飲食（ペットボトル飲料を含む）は厳禁です。飲食物が資料に付着すると、カビや虫害などの原因になり、資料が傷みます。
- ⑦貴重品など、手荷物の管理は各自で責任を持ってください。盗難・紛失などの被害にあった場合、当館では責任を負いかねます。

博物館

2008年度博物館開館予定

●春季企画展

「大谷大学のあゆみ
—清沢満之と真宗大学—」
会 期：2008年4月1日(火)
～4月26日(土)

●秋季企画展

「仏教の歴史とアジアの文化X
重要文化財『春記』(仮)」
博物館実習生展併催
会 期：2008年9月9日(火)
～9月27日(土)

●特別展

「聖徳太子伝の世界(仮)」
(開館5周年記念)
会 期：2008年10月10日(金)
～11月29日(土)

●夏季企画展

「仏教の歴史とアジアの文化区」
会 期：2008年5月20日(火)
～8月4日(月)

●冬季企画展

「京都を学ぶ みやこの姿(仮)」
会 期：2008年12月9日(火)
～12月27日(土)

詳細は大学HPをご覧くださいか、
博物館にお問い合わせください。

Tel. 075-411-8483

進路就職センター

進路就職センターは、就職・進学（大学院・編入）などのガイダンスや、仕事に必要な知識や能力を高めるため各種講習を開催するなど、卒業後の進路を支援しています。また、卒業後の進路につい

て、今何に取り組めばよいのかなどの相談にも応じています。新入生をはじめ、学年を問わず進路就職センターを大いに活用してください。



相談風景

進路就職センターの取り組み

●ガイダンス

卒業後の希望進路（就職・進学）に向けて、文学部第3学年・短期大学部第1学年・修士課程第1学

年・博士後期課程第2学年を対象にガイダンスを開催する予定です。内容や開催時期は、進路就職セン

ターから送付するDMや掲示、「学生向け情報提供システム」で確認してください。

●講習

資格を取得することは、知識や能力を高め勉学意欲を向上させるだけでなく、将来のキャリア形成につながります。ぜひ講習を受講して資格取得をめざしてください。受講対象は全学年です。新入生の皆さんも受講できます。

＜講習紹介＞

◎秘書技能検定対応 ビジネスマナー講習（2級・準1級）

社会人として必要とされるビジネスマナー（挨拶・話し方・電話の応対など）を、基本から応用まで幅広く学びます。

◎TOEICレベルアップ講習

語学力は企業が注目する能力です。特に英語の能力向上をめざし、リスニングを中心とした対策講習です。

◎販売士受験対策講習（3級）

販売士は流通業界唯一の公的資格です。販売や営業、さらに小売経営に関する幅広い分野の知識とスキルが身に付きます。

◎マイクロソフト オフィス スペシャリスト対策講習

仕事をする上で最も使用されているWord（ワープロソフト）・Excel（表計算ソフト）の使用方法（初級：基本）を学びます。

*他にも講習を予定しています。内容や開講日については、掲示、「学生向け情報提供システム」、『キャリア支援案内』で確認してください。

●企業ファイルと資料

会社案内や求人情報などをまとめた約7,000社の企業ファイルを配架し、自由に閲覧ができるように

しています。また、就職活動に関する書籍なども取り揃え、希望者には1週間の貸出が可能です。



閲覧室風景

教職支援講座 ①

教職アドバイザー 長谷川 浩三

教員になるために <その1>

本学では最近「教員になりたい」との希望を持っている人が増えてきています。近年、教員採用者数が増加してきていることや不況が長く続いたことによる安定を求める気持ちが強まってきていることが、理由の一端に挙げられます。

資格

—教員採用試験の受験資格—

教員になるためには、教員免許が必要なことは皆さんご存知のことと思います。教員採用試験の受験資格として「教員普通免許状を取得済みまたは取得見込みの者」という記述が募集要項にあります。在学中の皆さんは卒業時に取得する予定であれば「取得見込み」として出願できます。なお、教員免許を取得した後は、免許状を紛失しないように、保管には十分注意しておきましょう。大学卒業時に単位不足などで取得できなかった場合は、教員採用試験に合格（講師任用試験で合格）していても採用取り消しということになります。

資格について補足しておくことがあります。ひとつは、「中

教員を志す皆さんの中には、教員になるために必要なものがどのようなものか判らず、ただ単に、採用試験に備えて受験勉強をすればいいと考えている人がいます。教員が身に付けなければならないものについて、順次お話していきたいと思います。

学校、高等学校の両方の免許状が必要」などと複数の免許状を持っていることを条件としている場合があります。あなたが受験しようと考えている受験先の過年度の募集要項などをしっかり確認しておいたほうがいいでしょう。次に、年齢制限についてです。大学在学中の多くの皆さんは、年齢制限は気にしなくていいのですが、将来年数を経て受験する場合は、年齢制限が設けられている場合がありますので記憶に留めておく必要があります。ただし、年齢制限は緩和や廃止の方向にありますので、年齢であきらめるといえることは少なくなるといえます。

—教員資格認定試験で免許取得—

最後に、「教員資格認定試験」について説明します。教員免許

教員になるために何が必要かを説明するにはいろいろな角度からの説明方法があります。できるだけ簡単に「資格・資質・意志意欲」の3点を挙げて説明します。

状は、大学において単位を取得し、都道府県の教育委員会に申請して授与されるのが一般的な方法ですが、試験によって免許状が取得できる方法があります。例年、8月から9月にかけて幼稚園教員資格認定試験、特別支援学校教員資格認定試験、小学校教員資格認定試験が実施されます。免許を持っていないが新たに教員をめざす方、取得免許状に加えて新しく教員免許状を取得したい方は、要項を文部科学省ホームページで確認してください。本学でも毎年小学校教員資格認定試験を受験する人がいます。本学で2年間在学し、一定の単位を取得した人は、受験資格が与えられますので、今後とも前向きな挑戦者が現れることを期待しています。

(次号に続く)

GLOBAL SQUARE

GLOBAL SQUAREでは、学生の留学や外国語学習をサポートするために留学説明会や語学勉強会、留学生との交流イベントを実施しています。留学や語学学習に少しでも興味のある方は、気軽に立ち寄ってください。みなさんの来室をお待ちしています。

各種イベントなどの詳細は、GLOBAL SQUAREのホームページや掲示板で確認してください。

URL：http://web.otani.ac.jp/gs/

留学生のためのバザー

留学生の生活支援を目的にバザーを開催します。バザーは留学生対象で申込制です。留学生は、バザー品展示期間に欲しい品物を記入した申込用紙をGLOBAL SQUAREに提出してください。

日時：4月4日(金)～8日(火)
10:30～19:00

場所：GLOBAL SQUARE

対象：本学留学生

備考：申し込みが重複した品物については、GLOBAL SQUAREで調整します。

語学勉強会

英語、韓国・朝鮮語、中国語、ドイツ語、フランス語、サンスクリット語の勉強会参加者を募集しています。

詳細はGLOBAL SQUAREへお問い合わせください。

留学プランニングオリエンテーション

留学をするには、できるだけ早くから計画をたてることが重要です。留学までの準備スケジュールや留学制度申請の年間スケジュールについて説明します。留学に興味のある人は第1学年から積極的に参加してください。

日時：4月10日(木)・11日(金)・
14日(月) 11:30～12:00

*毎回、同じ内容で実施します。
いずれか1日を選択し、参加してください。

場所：GLOBAL SQUARE

申込：不要

学生スタッフ募集

GLOBAL SQUAREイベントの企画・実施や留学生のサポートなどをする学生スタッフを募集しています。国際交流や留学生との交流に興味のある人は、ぜひ参加してください。

留学説明会

大谷大学の留学制度を中心に留学の全般について説明します。具体的に留学を考えている人から、これから考えようという人まで留学に少しでも興味のある人は積極的に参加してください。

日時：4月25日(金) 16:10～17:40

場所：GLOBAL SQUARE

内容：◎留学制度について

◎留学の心構え・準備の仕方・危機管理について

◎留学帰国者の単位認定・諸課程について

◎休学して留学する場合の手続きについて

◎進路を考えるにあたっての留学の時期や留学のメリット

申込：GLOBAL SQUAREにて申し込んでください。

谷大エリア散策

第31回 アメリカヤ楽器店さん

大学北門西隣の「アメリカヤ楽器店」さんを訪ね、会長の加藤成治さんにお話をうかがいました。



お店の外観

—お店の歴史を教えてください。

ではまず私の家のことからお話ししましょう。実は私の加藤家は、大谷大学と深いつながりがあります。私の父の実家は金沢の専光寺というお寺で、伯父は加藤知学といい、大谷大学の仏教学の教授でした。退職後は富山の別院に入り晩年を過ごしました。父・知教も僧侶になるはずでしたが、それを嫌って19歳で単身アメリカへ渡りました。やがてアラスカで金鉱を発見して事業を興し多くの会社を経営するまでになりました。

一方、母は金沢の米問屋の娘で、コムビア大学で服飾デザインを学び父と結婚、帰国後にこの地で「アメリカヤ洋裁店」を開きました。当時としては、ニューヨーク仕立ての本格的な店でした。現在も母のお弟子さんたちは全国で活躍されています。

私はこの上総町で生まれ育ちました。戦争から帰った後に母の店を継ぎましたが、洋裁はできませんでしたので、初めのうちは委託販売で様々なものを売っていました。しかしとにかく楽器が大好きであった私は、主に楽器を扱うようになりました。その頃はピアノを手放す家も多かったのをそれらを集めて売買するようになり、中にはドイツの宮廷で使われていたペヒシュタインの最高級品を置いていたこともあります。一般の売り物とは格段に違う正に王室のために作られた超逸品でした。東京芸大の教授をはじめ、多くの音楽関係者がわざわざこのピアノを試弾に来られました。

現在はピアノはもちろんのこと、弦楽器も多数展示しており、世界で最高級とされるヴァイオリンも売買しております。各国の名だたる演奏家ともご

縁ができてきて大変うれしく思っています。

—大谷大学との付き合いについて

昔の話ですが、寮から出火して校舎が焼失してしまったことがありました。再建するにあたり短大の幼児教育科を新設する計画がありましたが、校舎再建には文部省の助成金が必要で、事前視察の際にピアノを20台程揃える必要があったのですが、大学には1台しかなく、それで当店にあった在庫を運びこんで文部省の視察に間に合わせたということもありました。

学生さんたちとはアメリカ民謡研究部の方々にコントラバスやバンジョーなどを購入していただき、今では自主活動サークルの大谷弦楽アンサンブルの方々にもご用命いただいているなど、お付き合いは長いですね。

—アコーディオンの話

子どもの頃はヴァイオリンを習いたかったのですが、父に反対されてやむなくアコーディオンに変更しました。7歳のときから74年間弾いています。アコーディオンも最高級品もそろえていますよ。中には細かな宝石を散りばめたそれはそれは美しいものがあります。ほかの楽器屋さんから「アコーディオンのことならアメリカヤさんに行ってください」といわれることもあります。販売だけではなく、ボランティアでケア・ハウスなどの施設へ慰問演奏を続けています。シャンソンやロシア民謡、カンツォーネや、ご年配の方々といっしょに口ずさんでもらえる「りんごの唄」のような日本の歌謡曲など幅広く演奏しますと、皆さんとても喜んでくださいます。これからもお声がかかれば体力の許す限りどこでも演奏にうかがいます。



取材中もアコーディオンの演奏を聞かせていただきました

—音楽教室も併設されていますね

現在、200名を超える生徒さんと30名の講師が在籍しております。3歳くらいのお子さんからシルバー世代の方までとても幅広いです。科目はピアノに加え、ヴァイオリンやチェロ、ハーブ等の弦楽器科に人気が高いです。つい最近も大谷大学の学生さんにヴァイオリン教室へ入会していただきました。当音楽教室の出身者の中にはプロの演奏家や指導者として活躍している方も少なくありません。



店内に並ぶたくさんの弦楽器

—お店のことについて

当店のスタッフは全員が演奏できる上に、営業面はもちろんのこと、ピアノの調律や難しい弦楽器の調整、音楽教室運営業務やコンサートの企画で海外の演奏家との交渉や通訳を務めたりと人材が揃っています。このスタッフ達が頑張ってくれていれば、さらなる発展を遂げていけるものと思っています。

現社長沼田文夫は音楽のさまざまな分野に理解があります。洋楽器は勿論のこと、雅楽の龍笛まで演奏します。最近では映画「茶々－天涯の貴妃(おんな)－」の醍醐の花見のシーンで使われる音楽を担当しました。

音楽を介して不思議なご縁でたくさんの方と出会い、今日に至っています。音楽はとても素晴らしく、人の心にやさしいものです。仕事や勉強の時間と音楽の時間を切り替えて、或いはそれにプラスして楽しむことができれば、人生が、さらには社会がもっと豊かになるように思いますね。

—ありがとうございました

研究室だより

総合研究室から

2008年4月から6月までの総合研究室の開室時間は以下のとおりです。

なお、開室日や開室時間の変更は、ホームページ・学内掲示板でお知らせします。ご確認ください。

4月	日	月	火	水	木	金	土
			①	②	③ ^{*1}	④	⑤
6	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
13	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
20	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
27	㉘	㉙	㉚				

5月	日	月	火	水	木	金	土
					①	②	③
4	5	6	⑦	⑧	⑨	⑩	
11	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	
18	⑱	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	
25	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛ ^{*2}	㉜

6月	日	月	火	水	木	金	土
1	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
8	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	
15	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑
22	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘
29	㉙	㉚					

黒字は、響流館の休館日

緑は、10時開室 17時30分閉室

緑は、9時開室 19時30分閉室

※1 4月3日(木)は入学式のため閉室です。

※2 5月31日(土)は宗祖誕生会のため、13時開室17時30分閉室です。

短期仏教科研究室から

『仏教研究紀要』第30号が発刊されました。

ご希望の方は、短期仏教科研究室までお越しください。

学会だより

大谷学会

春季公開講演会

日時 5月23日(金) 12時50分～

会場 本学講堂

講師 松沢哲郎氏

(京都大学霊長類研究所所長)

安富信哉教授

講題等は、掲示・ポスターにてご確認ください。

当日、授業のある方には欠席事由証明書を交付します。

真宗学会

新入会員歓迎会

詳細が決まり次第お知らせします。

仏教学会

新入会員歓迎講演会

詳細が決まり次第お知らせします。

哲学会

総会および『哲学論集』第53号合評会

日時 5月24日(土)

会場 講堂棟3階 多目的ホール

詳細が決まり次第お知らせします。

宗教学会

「大拙忌」記念公開講演会

講師 長谷正當氏

(前大谷大学宗教学会長)

開催は7月初旬を予定しています。

詳細が決まり次第お知らせします。

西洋哲学・倫理学会

西洋哲学・倫理学特別セミナー

講師 藤田正勝氏

(京都大学大学院文学研究科教授)

開催は6月を予定しています。

詳細が決まり次第お知らせします。

大谷中学・高等学校からのお知らせ

◆学校長、京都市教育功労賞を授与

昨年の11月10日に本校の真城義麿校長が、平成19年度の京都市教育功労者として京都市知事より表彰されました。真城校長は1997年より本校校長に就任し、生徒には宗教教育を通じた人間教育を、教職員に対しては教員研修の強化・徹底をはかり、よりよき教育が生徒に還元されるように指示され、地域の方々や一般の方々に対しても「今熊野セミナー」を開講して、「宗教」の必要性を訴えられてきました。また、京都市の全私立中学・高校の連合会副会長としても、私学の共存共栄の道を工夫されてきたことが、今回の受賞に繋がったものです。

◆学校長の『あなたがあなたになる48章』が出版

学校長が1997年から2007年まで、大谷中学・高等学校の機関紙「大谷」の巻頭言に収載された48編を、このたび東本願寺出版部から一冊の本として出版されました。

全編を通じて学校長は、高度に文明が進み豊かな社会生活が送れる時代なのに、環境破壊や地球温暖化が進み、世界各地で悲惨な内戦や事件が多発している状況（日本でも同様に、悲惨な事件が多発している）を踏まえて、「命の尊さ」・「先祖から受け継いできている命の願とは何か」・「自分が自分になる」ということはどういうことなのか、などを読者に語りかけられています。さらに、付録としてあなたがあなたになる「練習問題」もついていますので、ぜひご一読ください。

(198頁 定価 800円 税込)



◆保護者会、中越沖地震義援金活動に活躍

大谷中学・高等学校保護者会は、二学期の大谷中学・高等学校のオープンキャンパス・学校見学会（11月と12月に実施）を活用して、図書館で喫茶コーナーを開設し、200円でコーヒー・紅茶・ジュースとクッキー等をセットで提供し、その売り上げの全額を京都新聞社に中越沖義援金として寄付されました。（全額で33,600円）なお、本校のボランティアグループである「ハレジャ基金」も、今年度は能登半島地震の被災地の輪島に25万円、中越沖地震の被災地柏崎に12万円の義援金を送っています。「ハレジャ基金」の活動は17年目を迎え、義援金以外に病院や老人施設などに車椅子を毎年寄贈していて、今年度は第一日赤病院に寄贈しています。（これで58台目です）

◆本校中学3年生、乳幼児と交流体験を行う

本校の中学3年生は、2006年度から家庭科授業の取り組みの一貫として、

近隣の乳児園の子どもたちを招き、子どもたちをあやしたり一緒に遊んだりしながら、子育ての大変さ・命の大切さを学んでもらう機会を設けています。2007年度も0～3歳までの乳幼児34名とその父母を迎え、体育館で2時間ほど交流しました。生徒たちは始めの15分程は戸惑っていて、どのように抱っこすればいいのか、あやしたり、遊んであげるにはどうすればいいのか分からず、まごまごしていましたが、その後はコツをつかんできたようで楽しそうに接していました。短い交流の時間ではありましたが、生徒たちは、親がどのような願いを込めて、またどのような苦勞をして自分たちを育ててくれたのか、少しは感じてくれたのではないのでしょうか。今回の交流体験では普段の学校生活の中では見られない生徒の一面も知ることができるので、今後も続けていく予定です。



九州大谷短期大学からのお知らせ

九州大谷短期大学 [幼児教育学科] で新しい入試スタイルを導入!!

「子どもとのあそび体験」入試がスタートします。

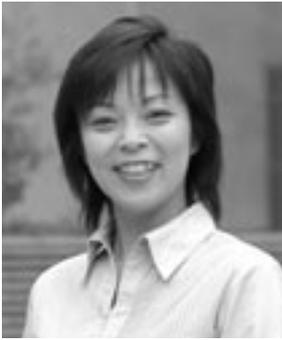
幼児教育学科では、これまで「提出書類・作文・面接」の総合評価により選抜を行ってきましたが、2009年度募集より「提出書類・子どもとのあそび体験（感想文を含む）」で選抜する「子どもとのあそび体験」入試をスタートさせます。音楽、身体、造形、ことばなど、子どもの生活に関連した科目に力を入れたカリキュラムが特徴の本学科が、子どもが大好きなあなたのための入試を考えました。“作文・面接”か“子どもとのあそび体験”のどちらか得意とする方を選んで受験してください。

【入試のPoint 1】 本学附属の園で、子どもとあそびます。面接の代わりに、子どもとあそぶことを通して保育者としての適性を判断します。

【入試のPoint 2】 あそびを体験する時間は30分。あなたの感性で自由にあそびます。歌ってあそんだり、かけっこをしたり、お話ししたり、絵を描いたり。体験型の入試です。

【入試のPoint 3】 公募推薦入試2次・自己推薦入試2次・一般入試（A・B・C日程）で行います。年内に合格を決めたい方は早めの受験を!

学生相談室から



表題は手紙の末文に使われるあいさつ文である。この場合の「時節柄」は必ずしも寒いとか暑いという特定の時節を指しておらず、季節を問わずに使われる慣用的な文である。

それでも春という、誰にも心おどる季節にはふさわしくないと思われるかもしれない。しかし油断は大敵。春というのは実は、秋と並んでからだもこころもバランスを崩しやすい時期なのである。

暑からず寒からず、一年中で一番すこしやすと思われている春と秋は、いずれも季節の変わり目に位置している。寒い冬から暑い夏へと気候が上向きに変わっていく途中が春、下がっていく途中が秋である。「とにかく寒い」冬モードから「まだ寒い」と「もう暖かい」が不順に入れ替わる春モードへと移行する時、体温ひとつ取ってみても、からだがいかに微妙な調整を繰り返しているか想像がつくだろう。バランスをとる自律神経は大忙しなのである。

「時節柄、くれぐれもご自愛ください」

谷口 奈青理

学生相談室の開室について

場 所	曜 日	学生相談員	開室時間
学生相談室 (博綜館1階)	月曜日	谷口 奈青理 神田 敬子	10時30分～16時00分
	火曜日	久保 聡史 宇佐 晋一	10時30分～16時00分 13時00分～16時00分 (第2週・第4週)
	水曜日	(神経科校医) 神田 敬子	10時30分～16時00分
	木曜日	讓 西賢	10時30分～16時00分
	金曜日	久保 聡史	10時30分～16時00分

それは当然ころにも影響を及ぼし、季節の変わり目には人は不安定になりやすいのである。ところが日に日に暗さを増していく秋ならともかく、暖かくなり草木も芽吹き花開く春に気分がしずむというのは、一般になかなか理解されがたく、このことがまた苦しさを増していく。浮かれる周囲との落差も秋の比ではない。

春はここには要注意の季節でもあるのだ。「時節柄、くれぐれもご自愛ください」(たにぐち なおり)

出版物紹介

◎『親鸞讃歌』

寺川俊昭 著
東本願寺出版部 刊
(2008.2) 257頁



◎『日本中世の地域社会と一揆』

一公と宗教の中世共同体』
川端泰幸 著
法藏館 刊
(2008.2) 231頁



◎『多屋頼俊先生所蔵』

祖師一言法談 影印・翻刻・解題』
石橋義秀 編
文栄堂書店 刊
(2008.3) 153頁



◎『Imagining Communities in Thailand』

Ethnographic Approaches』
田辺繁治 編
Mekong Press 刊
(2008.1) 221頁

◎『饗宴／パイドン』

プラトン 著
朴一功 訳
京都大学学術出版会 刊
(2007.12) 478頁

◎『現代詩大事典』

安藤元雄・大岡信
・中村稔 監修
國中治 分担執筆
三省堂 刊
(2008.2) 820頁

2008年度 前期 生涯学習講座案内

大谷大学では様々な教養を身につけたい方に、本学の知的資産をベースとした生涯学習講座を開講しています。本学ならではの宗教・信仰を求めていく講座、現代社会をいかに生きるのかをテーマとする講座、京都の文化の奥深さを知る講座など、切り口は多様ですが、共通するテーマは「人間」です。大谷大学の生涯学習講座にご期待ください。講師の肩書きは2008年3月現在のものです。

開 放 セ ミ ナ ー

○大乘仏教のあゆみ ―親鸞の眼を通して―

―概要―

2011年の宗祖親鸞聖人750回御遠忌を記念した開放セミナー「大乘仏教のあゆみ―親鸞の眼を通して―」を開講します。

親鸞の『正信偈』や『高僧和讃』にでてくる七高僧（龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・法然）はどんな人たちだったのでしょうか。親鸞はまた、仏教が日本に伝わるはじまりに聖徳太子を置き「和国の教主」として称えています。

本講座は、仏教がインドで生まれ中国を経て日本に伝わり、さらなる展開を遂げていく様子を、真宗学・仏教学・歴史学の各分野の視点から学ぶものです。

学長による総論（2007年度後期）によってスタートし、龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・法然・聖徳太子（2010年度前期）の“人と思想”をテーマにして本学教員がリレー講義を行い、親鸞の眼を通した大乘仏教のあゆみを明らかにしていきます。

■開放セミナー「大乘仏教のあゆみ」は、NPO法人尋源舎の協賛を得て、開催いたします。

―開講計画―（※は終了しました）

	前期 5～7月	後期 10～12月	冬期 2月～3月
2007年度	①総論（3回）※	②龍樹（6回）※	
2008年度	③天親（6回）	④曇鸞（6回）	⑤道綽（6回）
2009年度	⑥善導（6回）	⑦源信（6回）	⑧法然（6回）
2010年度	⑨聖徳太子（6回）		



○大乘仏教のあゆみ ―親鸞の眼を通して―③ 「大乘の仏弟子―天親―」

―概要―

釈尊滅後900年、北インドに生まれた天親菩薩は、釈尊の教えを正しく聞くことをみずからの学びの課題とした方でした。また多くの著述をつくり「千部の論師」と讃えられました。唯識教学によって、如来の教えを正しく聞く根拠をアーラヤ識において確かめ、そのあり方を「聞熏習^{もんくんじゅう}」として明らかにしました。また『無量寿経』の伝統に深く帰依し、『浄土論』を著わして、釈尊なき世を仏弟子として生きるための「願生」の仏道を確立しました。天親の生涯と思想を学びながら、親鸞との関わりについても皆さんとともに考えていきたいと思えます。

―講座内容―

(1) 天親の生涯と著作①	講 師	小谷 信千代（大谷大学教授）
(2) 天親の生涯と著作②		加来 雄之（大谷大学准教授）
(3) 天親の唯識思想 ―アーラヤ識説―		箕浦 暁雄（大谷大学講師）
(4) 天親の唯識思想 ―聞熏習―	開講日	5月28日・6月4日・11日・25日・ 7月2日・9日（水曜日）
(5) 親鸞と天親① 願生浄土―仏弟子として	時 間	18：00～19：30
(6) 親鸞と天親② 莊嚴と回向―教えに生きる	定 員	100名
	会 場	メディアホール
	受講料	6,000円（税込）

○蓮如 —その神話と救済論—

—概要—

本願寺第八代蓮如。その伝記は、宗祖親鸞の再誕、阿弥陀如来の化身として生を受け、苦難を経て人びとを済度し、真宗再興を成し遂げ、浄土へ帰ったと物語る神話である。この神話は、悪人往生と云う信じがたい教えを、人びとが信受する装置である。神話を神話として読み解きながら、蓮如自身の言葉である御文が、親鸞の宗教を再構成して人々の救済の証としたことを明かす。神話と自身の言葉から、蓮如の像を浮かび上がらせたい。

—講座内容—

(1) 始まり：真宗再興志願と生母観音伝説	講 師 大桑 齊 (大谷大学名誉教授)
(2) 苦難：御文始めと大谷破却	開講日 5月16日・23日・30日・6月13日・
(3) 衆生済度：吉崎留錫とくありのままの救い>	20日・7月4日 (金曜日)
(4) 逆縁：一向一揆と六字釈	時 間 18:00~19:30
(5) 本懐成就：山科本願寺再興	定 員 100名
(6) 浄土への還帰：往生記	会 場 メディアホール
	受講料 6,000円 (税込)

○支援と共感の共同体 —アディクションの回復から学ぶこと—

—概要—

「酔っていれば幸せ。」自分ではどうしようもない傷の痛みを癒してくれるのは、やっぱり酒、薬。そこまでの傷ではなくても、ストレスのたまる社会で生きていくのだから、パチンコは一番のストレス解消剤。それがいつのまにか酒や薬、ギャンブルに自分の人生を乗っ取られるようになり、「こんなはずでは！」 絶望と孤独のなかでもがく人たちが心から助けを求めた時、苦しみに共感し支えあう人たちがそこにいるならば。

心を閉ざした人たちが、人と人との絆のなかでどのように信頼と希望を取り戻すかを、当事者の語りを傾聴しながら学んでいきたいと思えます。

※アディクション：嗜癖。人が望んでする事で、これをしないと落ち着かなくなる現象。アルコール・薬物依存症、病的賭博などと呼ばれることが多い。

—講座内容—

(1) 生きることが辛い	講 師 滝口 直子 (大谷大学教授) ほか
(2) 私を救ってくれた酒・薬・ギャンブル	開講日 5月20日・27日・6月3日・10日・
(3) 孤独と絶望の壁の中で (ゲスト：倉田めば氏)	17日・24日 (火曜日)
(4) 助けを求める	時 間 18:00~19:30
(5) 共感と支援のなかで閉ざされた心を開放する (ゲスト：日野雅範氏)	定 員 100名
(6) 人と人の絆の中で—信頼、そして希望	会 場 メディアホール
	受講料 6,000円 (税込)

紫 明 講 座

○立原道造の文学と生 —形式が生み出した感受性—

—概要—

立原道造は、詩のほかにも、さまざまなジャンルの作品を残しています。

とりわけ重要なのは、物語とも小説とも呼ばれる創作的散文です。ソネットという厳格な定型詩に本領を発揮した立原が、同時に、この奇妙で少しだけ典雅でもある「物語」の制作にも没頭したのはなぜか。両者の不思議な関わりに興味をそそられます。

また、ひとつの作品の中に多種多様な要素が含まれていることも、立原文学の大きな特徴となっています。同時代の文学者との密接な交流と、古今東西の旺盛な読書によって充満した彼の詩囊が、コラージュのような表現を生み出したからです。では、彼の感受性と実体験は作品成立前のどの段階で、どのように作用したのでしょうか。寄せ集め細工的な作品が立原ならではの表現となりえた理由は何なのでしょう。

よう。立原道造の文学的道程を辿りつつ、これらの問題に分け入ってみたいと思っています。

一講座内容一

- | | |
|---------------|------------------------|
| (1) 短歌からソネットへ | 講 師 國中 治 (大谷大学教授) |
| (2) 詩と物語 | 開講日 5月8日・15日・22日 (木曜日) |
| (3) 小説への旅 | 時 間 18:00~19:30 |
| | 定 員 100名 |
| | 会 場 メディアホール |
| | 受講料 3,000円 (税込) |

○長者になる法 教えます -『日本永代蔵』西鶴の才覚-

一概要一

江戸時代のはじめ寛永4年(1627)に、『長者教』という書物が出版されました。文字通り、「長者になる法」です。それから60年、高度経済成長を経て、井原西鶴は新しい「長者教」を書きました。銀が銀を生む世の中に、長者になろうとあがき、銀に翻弄されながら、浮ぶ者・沈む者、その人間の有様を「長者教」と洒落てみせたのです。題して『日本永代蔵 大福新長者教』。西鶴の才覚を再確認したいと思います。

一講座内容一

- | | |
|------------|------------------------|
| (1) めでたき出世 | 講 師 沙加戸 弘 (大谷大学教授) |
| (2) 現金掛値なし | 開講日 6月5日・12日・26日 (木曜日) |
| (3) 人生栄枯盛衰 | 時 間 18:00~19:30 |
| | 定 員 100名 |
| | 会 場 メディアホール |
| | 受講料 3,000円 (税込) |



○胡同^{フートン}—北京の街角を感じてみる—

一概要一

北京は明代から現在まで中国の首都であり続けている。そこは故宮をはじめとする中華文化の残る旧市街と、開発の進む新市街、そして農村部に分かれている。

オリンピックを迎え街の活性化が進む一方で、老北京(北京っ子)たちが住む胡同^{フートン}の取り壊しも進んでいる。近代化の中にも陰の部分があるということか。

今回は街の様子、季節の行事、食生活などを中心に中国文化を学んでみる。

一講座内容一

- | | |
|---|-----------------------|
| (1) 胡同の街並み | 講 師 李 青 (大谷大学准教授) |
| (2) 中国の季節行事 | 開講日 7月1日・8日・15日 (火曜日) |
| (3) 茶芸—中国茶の魅力—
(※中国茶を実際に味わっていただきます。) | 時 間 18:00~19:30 |
| | 定 員 100名 |
| | 会 場 メディアホール |
| | 受講料 4,000円 (税込・材料費込) |

○新しい情報環境への哲学的アプローチ

一概要一

昨年は、「地球温暖化問題」があらためてクローズアップされ、(自然)環境問題に注目が集まっています。

同じように進行しつつある環境問題がもうひとつあります。それは、わたしたちの情報環境、メディア環境の問題です。携帯電話やインターネットを始め、デジタル・ネットワークが生活の隅々に浸透するユビキタス^(*)社会への変化は、その行方を見極める余裕もないほどのスピードで進んでいます。急激に進む情報環境の変化は、わたしたち自身や、わたしたちの社会に大きな影響をあたえずにはおかないでしょう。

本講座では、そうした（情報）環境の変化を意識しながら、哲学の基本的な問い（知識、現実、自己など）を考えてみたいと思います。

(*) ユビキタス：いたるところにあること。偏在すること。特に、コンピューターや情報通信環境についていう。

—講座内容—

(1) 情報と知識、そして知恵	講 師 渡辺 啓真（大谷大学教授）
(2) 新たな情報環境とリアリティ	開講日 7月3日・10日・17日（木曜日）
(3) 個人情報という「もう一人のわたし」	時 間 18：00～19：30
	定 員 100名
	会 場 メディアホール
	受講料 3,000円（税込）

○幼児期からの食育 —生涯の食の原点を再認識しよう—

—概要—

かなり以前から、子どもたちの気力や体力の低下傾向が指摘されてきました。原因のひとつとして食生活のバランスのくずれが考えられます。特に幼い頃からの食生活環境や、かたよった栄養バランスが、その後の心身の発達や生活習慣病の低年齢化現象にも影響を及ぼしていることは確かです。

家庭での配慮ある食生活の中で自らの食について考える力を養った子どもたちが、次世代へとつながる食文化の担い手として成長してくれることを期待して“食育”の基本部分から共に考え、学んでいきたいと願っています。

—MENU—

パーティ風一口おにぎりを中心に、受講生の年齢構成などを考慮して、おやつ・栄養食などメニューを決定します。

講 師 吉田 陽子（大谷大学非常勤講師）	定 員 10家族（主に3～6才までのお子様と そのご家族を対象とします。）
開講日 8月2日（土曜日）	会 場 2号館地階 栄養実習室
時 間 10：00～13：00	受講料 1家族3,000円（税込・材料費込）

京 都 学 講 座

○史蹟から見る京都学 —古地図を片手に平安京・京都をさぐる—

—概要—

京都の史蹟を案内してくださいといわれたら、みなさんはどこを思いうかべますか。京都は史蹟が多いからなあ、千本丸太町の平安宮大極殿跡かなあ、それとも河原町蛸薬師の坂本龍馬遭難地かなあ、歴史好きの方は迷ってしまわれるでしょう。

京都は1100年のミヤコでした。古代から維新まで実に多くの有名・無名の人々がまちを闊歩（かっほ）しました。だから多くて当然。いえ多いというよりは、史蹟のなかに現代京都があるといっているはず。上のふたつには碑が建っています。でも碑が建っていない史蹟が京都にはたくさんあります。ふだんは気づきにくい、ふるい京都の痕跡を、古地図を片手に現地をあるきつつ学んでみましょう。

—講座内容—

- (1) 大事にされない江戸時代の京都
- (2) 御土居堀と「是より洛中」標石
- (3) 【巡検】洛中・洛外の境界をあるく
- (4) 忘れられた「天皇陵」
- (5) 【巡検】紫野・蓮台野の「天皇陵」をあるく



講 師 中村 武生 (大谷大学非常勤講師)
開講日 6月21日・28日・7月12日・19日・
26日 (土曜日)
時 間 講座 14:00~15:30
【巡検】(フィールドワーク)
14:00~15:30 (延長あり)

定 員 100名
会 場 メディアホール (巡検は現地実習)
受講料 6,000円 (税込・保険料込)

博 物 館 セ ミ ナ ー

○はじめて学ぶ古文書読み解き講座

—概要—

博物館の展覧会で、いつも古文書のところは通り過ぎていませんか。解説だけでなく、原文をそのまま読みたいと思いませんか。

古文書を読み解くことは、そこに記された内容だけでなく、古文書が書き残された歴史的な背景を考えてみるおもしろさがあります。

このセミナーでは、近世の古文書をテキストに、解読のテクニックと『くずし字解読辞典』の使い方を修得し、確実に読み解いていくことを目的としています。

古文書の読解は慣れが必要ですので、毎回、宿題を出して自宅でも練習していただきます。

●参考書『くずし字解読辞典』(東京堂出版) 必携

講 師 平野 寿則 (大谷大学講師)
開講日 5月24日・31日・6月14日・28日・
7月12日・26日 (土曜日)
時 間 10:00~11:00、
11:10~12:10 (1回2コマ)
※5月31日は、宗祖誕生会のため14:00~15:00、
15:10~16:10の開講となります。

※当セミナーは多数のお申込が予想されます。
応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
その旨あしからずご了承ください。
定 員 30名
会 場 マルチメディア演習室
受講料 12,000円 (税込)

詳細なパンフレットをご希望の方は、下記までお問合せください。
また受講申し込みの際には、ハガキ、FAX、Eメールいずれかにて、
①講座名 ②氏名・フリガナ ③郵便番号・住所 ④電話番号を明記してください。

— 連 絡 先 —

教育研究支援課KO係
TEL: 075-411-8161 FAX: 075-411-8162 E-mail: opensemi@sec.otani.ac.jp

※講座名、日程、受講料
など変更になる場合が
あります。その旨ご了
承いただきますようお
願いいたします。

『大谷大学広報』2007冬号の訂正について

23頁「2007年度 秋季大会結果—個人成績—」に誤りがありましたので訂正いたします。

<誤>

<正>

【2007年度 秋季大会結果 —個人成績—】 一般 男子中級ライト以上

・準優勝 吉田 広 樹 ・準優勝 吉田 広 輝

2008年度入学試験 結果

一般入試〔第1期〕結果

●文学部（3教科型）

学部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点	
							最高点	最低点
文学部	真 宗 学 科 〔第2志望〕	18	14 (1) 42 (15)	14 (1) 41 (15)	12 (1) 10 (4)	1.2 —	315 —	195 201
	仏 教 学 科 〔第2志望〕	14	11 (3) 89 (32)	11 (3) 87 (32)	8 (3) 19 (5)	1.4 —	331 —	171 181
	哲 学 学 科	18	36 (10)	33 (9)	28 (9)	1.2	342	242
	社 会 学 科	40	127 (52)	125 (52)	95 (40)	1.3	338	228
	歴 史 学 科	30	140 (49)	138 (47)	86 (34)	1.6	352	264
	文 学 学 科	18	91 (51)	90 (51)	60 (38)	1.5	384	253
	国際文化学科	25	47 (26)	47 (26)	41 (23)	1.1	342	220
	人文情報学科	25	32 (6)	32 (6)	27 (5)	1.2	338	190
	合 計 〔第2志望〕	188	498 (198) 131 (47)	490 (195) 128 (47)	357 (153) 29 (9)	— —	— —	— —

●文学部（2教科型）・短期大学部

学部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点	
							最高点	最低点
文学部	真 宗 学 科 〔第2志望〕	10	11 (2) 36 (11)	11 (2) 33 (9)	10 (2) 15 (4)	1.1 —	151 —	75 76
	仏 教 学 科 〔第2志望〕	10	10 (4) 63 (29)	10 (4) 61 (28)	6 (3) 14 (6)	1.7 —	163 —	87 87
	哲 学 学 科	10	38 (13)	37 (13)	30 (12)	1.2	166	110
	社 会 学 科	20	83 (35)	79 (34)	43 (22)	1.8	177	127
	歴 史 学 科	10	23 (6)	22 (5)	12 (3)	1.8	165	130
	文 学 学 科	10	70 (40)	69 (40)	31 (21)	2.2	175	146
	国際文化学科	15	64 (30)	60 (29)	46 (25)	1.3	175	115
	人文情報学科	15	61 (20)	56 (18)	41 (16)	1.4	167	96
	合 計 〔第2志望〕	100	360 (150) 99 (40)	344 (145) 94 (37)	219 (104) 29 (10)	— —	— —	— —
	短期大学部	仏 教 学 科 〔第2志望〕	10	7 (2) 8 (8)	7 (2) 7 (7)	7 (2) 1 (1)	1.0 —	156 —
文 学 学 科 〔第2志望〕		10	24 (23) 11 (5)	23 (22) 11 (5)	22 (21) 3 (1)	1.0 —	163 —	85 98
幼児教育保育科		20	62 (40)	60 (38)	29 (25)	2.1	178	135
合 計 〔第2志望〕		40	93 (65) 19 (13)	90 (62) 18 (12)	58 (48) 4 (2)	— —	— —	— —

〔注1〕（ ）内数字は女子内数。

〔注2〕文学部3教科型は400点満点・文学部2教科型と短期大学部は200点満点。

一般入試〔第2期〕結果

学部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点	
							最高点	最低点
文学部	真 宗 学 科 〔第2志望〕	4	4 (0) 23 (3)	4 (0) 22 (2)	4 (0) 6 (0)	1.0 —	56 —	29 34
	仏 教 学 科 〔第2志望〕	3	6 (1) 45 (10)	6 (1) 44 (10)	6 (1) 21 (2)	1.0 —	58 —	20 25
	哲 学 学 科	4	19 (5)	19 (5)	16 (5)	1.2	78	42
	社 会 学 科	8	60 (11)	55 (10)	25 (6)	2.2	85	52
	歴 史 学 科	5	15 (6)	15 (6)	11 (4)	1.4	75	51
	文 学 学 科	4	22 (8)	22 (8)	18 (7)	1.2	90	53
	国際文化学科	5	26 (7)	26 (7)	15 (6)	1.7	80	61
	人文情報学科	5	13 (3)	13 (3)	9 (3)	1.4	87	51
	合 計 〔第2志望〕	38	165 (41) 68 (13)	160 (40) 66 (12)	104 (32) 27 (2)	— —	— —	— —
	短期大学部	仏 教 学 科 〔第2志望〕	5	5 (1) 4 (3)	5 (1) 3 (2)	5 (1) 0 (0)	1.0 —	66 —
文 学 学 科 〔第2志望〕		5	7 (5) 6 (2)	6 (4) 6 (2)	6 (4) 0 (0)	1.0 —	63 —	33 —
幼児教育保育科 〔第2志望〕		5	12 (7) 1 (1)	12 (7) 1 (1)	12 (7) 0 (0)	1.0 —	78 —	35 —
合 計 〔第2志望〕		15	24 (13) 11 (6)	23 (12) 10 (5)	23 (12) 0 (0)	— —	— —	— —
総 計 〔第2志望〕			189 (54) 79 (19)	183 (52) 76 (17)	127 (44) 27 (2)	— —	— —	— —

〔注1〕（ ）内数字は女子内数。

〔注2〕得点は外国語・国語のいずれか1教科を試験場で選択。100点満点。

一般入試〔大学入試センター試験利用入試〕結果

学部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
文学部	真 宗 学 科	4	29 (5)	29 (5)	22 (3)	1.3
	仏 教 学 科	3	18 (7)	18 (7)	14 (6)	1.3
	哲 学 学 科	4	29 (13)	28 (12)	14 (7)	2.0
	社 会 学 科	8	56 (25)	56 (25)	14 (6)	4.0
	歴 史 学 科	5	68 (26)	68 (26)	14 (7)	4.9
	文 学 学 科	4	63 (37)	63 (37)	22 (16)	2.9
	国際文化学科	5	41 (31)	41 (31)	18 (14)	2.3
	人文情報学科	5	28 (10)	27 (10)	12 (8)	2.3
	合 計	38	332 (154)	330 (153)	130 (67)	—
	短期大学部	仏 教 学 科	2	4 (0)	4 (0)	4 (0)
文 学 学 科		2	11 (11)	11 (11)	11 (11)	1.0
幼児教育保育科		4	20 (17)	20 (17)	9 (9)	2.2
合 計		8	35 (28)	35 (28)	24 (20)	—
総 計	46	367 (182)	365 (181)	154 (87)	—	

〔注〕（ ）内数字は女子内数。

大学院春季試験（修士・博士後期）結果

課程	専 攻	募集人員	区 分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
修士課程	真 宗 学	定員(20)の50%程度	本 学	7 (2)	7 (2)	4 (2)	1.5
			他 大 学	5 (0)	5 (0)	4 (0)	
	仏 教 学	定員(20)の50%程度	本 学	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1.0
			他 大 学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	哲 学	定員(10)の50%程度	本 学	2 (1)	2 (1)	1 (1)	1.7
			他 大 学	3 (0)	3 (0)	2 (0)	
	社 会 学	定員(10)の50%程度	本 学	3 (1)	3 (1)	2 (1)	1.5
			他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	仏教文化	定員(20)の50%程度	本 学	6 (3)	6 (3)	6 (3)	1.0
			他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
国際文化	定員(10)の50%程度	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	
		他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
合 計	定員(90)の50%程度	本 学	20 (8)	20 (8)	15 (8)	—	
		他 大 学	9 (0)	9 (0)	7 (0)		
		計	29 (8)	29 (8)	22 (8)		
博士後期課程	真 宗 学	3	本 学	7 (0)	7 (0)	5 (0)	1.4
			他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	仏 教 学	3	本 学	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1.5
			他 大 学	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
	哲 学	3	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
			他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	社 会 学	3	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
			他 大 学	2 (1)	2 (1)	0 (0)	
	仏教文化	3	本 学	3 (1)	3 (1)	2 (1)	1.3
			他 大 学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
国際文化	3	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	
		他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
合 計	18	本 学	12 (2)	12 (2)	9 (2)	—	
		他 大 学	4 (1)	4 (1)	1 (0)		
		計	16 (3)	16 (3)	10 (2)		
総 計	—	本 学	32 (10)	32 (10)	24 (10)	—	
		他 大 学	13 (1)	13 (1)	8 (0)		
		計	45 (11)	45 (11)	32 (10)		

〔注〕（ ）内数字は女子内数。

文学部第3学年一般編入学試験結果

学 科	コ ー ス	区 分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
真 宗	真 宗 学	本 学	4 (1)	4 (1)	4 (1)	1.0
		他 大 学	11 (0)	11 (0)	11 (0)	
仏 教	仏 教 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
哲	西 洋 哲 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	倫 理 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
		他 大 学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	宗 教 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
教 育 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	
	他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
社 会	現 代 社 会 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	文 化 人 類 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
史	国 史 学	本 学	1 (0)	1 (0)	0 (0)	—
		他 大 学	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
	日 本 仏 教 史 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
		他 大 学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	東 洋 史 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
東 洋 仏 教 史 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	
	他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
文	国 文 学	本 学	1 (0)	1 (0)	0 (0)	—
		他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	中 国 文 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	英 文 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
他 大 学		1 (1)	1 (1)	1 (1)		
国際文化	国 際 文 化 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	合 計	本 学	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1.2
他 大 学	4 (1)	4 (1)	4 (1)			
合 計	—	本 学	8 (1)	8 (1)	5 (1)	—
		他 大 学	19 (2)	19 (2)	18 (2)	
		計	27 (3)	27 (3)	23 (3)	

〔注〕（ ）内数字は女子内数。

《教員研究室一覧表》

博 綜 館		
階	部屋番号	教員名
2F	211	佐藤 義寛
	212	鈴木 繁一
	213	乾 源俊
	214	A. デッケ=コルニル
	215	加藤 丈雄
	216	石橋 義秀
	217	沙加戸 弘
	218	村瀬 順子
	219	宮川 清司
	220	國中 治
	221	古川 哲史
3F	311	鄭 早苗
	312	草野 顕之
	313	浅見 直一郎
	314	泉 恵機
	315	豊島 修
	316	脇中 洋
	317	田辺 繁治
	318	桂 華淳祥
	319	木場 明志
	320	宮崎 健司
	321	築山 修道
	322	岩 洩 信明
	323	中 桐 伸吾
	324	大内 文雄
325	中森 一郎	
326	礪波 護	
327	並木 治	
4F	411	松村 尚子
	412	矢野 のり子
	413	安井 喜行
	414	高井 康弘
	415	門脇 健
	416	山下 憲昭
	417	渡辺 啓真
	418	池上 哲司
	419	朴 一功
	420	滝口 直子
	421	番場 寛
441	寺林 脩	
442	佐賀枝 夏文	
5F	511	宮下 晴輝
	512	安富 信哉
	513	兵藤 一夫
	514	M. A. ベーテ
	515	延塚 知道
	516	小谷 信千代
	517	木村 宣彰
	518	一色 順心
	519	池田 佳和
	520	福田 洋一
	521	D. ヴェステル
	541	水島 見一
	542	藤嶽 明信
543	R. F. コーズ	
544	谷 眞理	
545	織田 顕祐	

聞 思 館			
階	部屋番号	教員名	
1F	10	藤枝 真	
	11	廣川 智貴	
	12		
	13	藤谷 昌紀	
	14	加来 雄之	
	15	村山 保史	
	16	村松 法文	
	17	大城 邦義	
	18	一 楽 真	
	19	木越 康	
	2F	20	天野 勝重
		21	射場 美恵子
		22	森崎 礼子
		23	
		24	喜多 恵美子
		25	鈴木 寿志
		26	三宅 伸一郎
		27	赤瀬 知子
		28	古屋 哲青
29		李 青	
30		柴田 みゆき	
3F	31	井上 摩紀	
	32	徳岡 博巳	
	40	藤元 雅文	
	41	阿部 利洋	
	42	山内 清郎	
	43	西村 美紀	
	44	酒井 恵光	
	45	加治 洋一	
	46	関口 敏美	
	47	渡部 洋	
	48	大秦 一浩	
49			
4F	50	谷口 奈青理	
	51	山本 和彦	
	52	采 翠 晃	
	60	箕浦 暁雄	
	61		
	62	平野 寿則	
	63		
	64	山田 恵文	
	65	浅若 裕彦	
	66	芦津 かおり	
	67	井上 尚実	
68	浦山 あゆみ		
69	東館 紹見		
70	志藤 修史		
71	山本 貴子		
72	松川 節		

2 号 館		
階	部屋番号	教員名
1F	101	山野 俊郎
	102	三木 彰円
	103	藤本 芳則
	104	藤田 昭彦
2F	106	豊住 征子
BF	107	太田 智子

「大谷大学広報08-夏」発行のお知らせ

「大谷大学広報08-夏」の発行を7月に予定しています。さまざまなエッセイや連絡事項などを掲載する予定です。ぜひお読みください。広報は次の場所に置いてありますので、ご自由にお取りください。

- ①博綜館ビロティエ（博綜館入口横） ②至誠館（学生課カウンター前）
- ③響流館（図書館、教育研究支援課カウンター） ④学内食堂 ⑤各研究室
- ⑥1号館1階 ⑦2号館1階

また、大谷大学ホームページから、バックナンバーを含め広報の閲覧が可能です。

http://www.otani.ac.jp/annai/shuppan/d_kouhou.html

いささか古い話から始めることをお許し願いたい。村のお年寄りたちと話していた時のこと。「最近留守番もさせてもらえん」「なんでや?」「オレオレ詐欺にひっかかると危ないから電話には出るなどと言われる。訪問販売も危ないから、インターホンにも出なくていいと言われる」「ふーん」「それで仕方ないからテレビの番を毎日してるんや」

老人たちの役割が奪われているという問題については措いて言わない。それも便利になった結果であることに間違いはないが、今は機械の力を借りて応対するか否かを決めていく在り方が本当に良いことなのかを考え

たい。確かに番号ディスプレイで相手を確認できたり、インターホンで顔を見てから出るか出ないかを決めるというのは便利なことではある。しかし、それにだんだん慣れてくるとやっかいである。

自分にとって都合の良いことは受け入れ、都合の悪いことには関わらないようにする。これは人の常である。こと生命の危険に関わる事柄ならば、これは本能とも言える。ところが、好きなことはやるけど、キライなことはやらないということが癖になると、すべてを自分の好き嫌いだけを基準に見ていくことになってしまう。

便利さの追求は日々飽くことを知らない。たとえば、この原稿を打っているパソコンにしても、次々と新製品が出てくる。メーカーに小出しにするなど言いたくなるほどである。しかし、ひとたび新しくて速い機種を手にした途端、もう元の古くて遅いものは使う気になれない。つまり便利さを求めることは同時に不便さを嫌悪することなのである。これは何にでも当てはまることで、楽を求めれば苦しむことになり、成功を求める心は必ず失敗を怖れる心にもなる。

考えてみれば、人間は快適で便利なことを追い求めて、これまで突き

話題の広場 SQUARE

便利になりすぎて困ってませんか? —少欲知足のすすめ—

—楽 真



絵 内山智廣

進んできたと言える。誰が言ったかは知らないが、「文明の前に森があり、文明の後に砂漠が残る」という言葉を聞いたことがある。「もののけ姫」のタタラ場に象徴されるように、人間は火を使って自然界の物を加工する技術を手に入れた。それによって快適さと便利さを享受できるようになったことは確かである。しかし進歩という名のもとに無くした物もたくさんあるのではないか。もの見方も偏狭になってきている気がする。

最近のことで言えば、iPS細胞の作製が話題となっている。人工多能性幹細胞と訳され、万能細胞とも言われるものである。重篤な病気で苦しんでいる人にとっては、細胞移植により治療の道が開けるといふ大変

明るいニュースである。しかも他人からの細胞移植の場合に起こる拒絶反応もなく、受精卵を材料に用いないという面で倫理的な問題もクリアできるのだそうだ。ただ、気をつけなければならないのは、もしその治療を受けられないとしたら、自分は不幸なのだろうかという点である。完成までにはまだまだ時間がかかり、生きているうちには間に合わないかもしれない。また完成しても高額な治療費に手が届かないかもしれない。その時、私の一生は不幸だになってしまうだろうか。

もっと、もっとという形でさまざまな技術が発達してきたことは否定しない。しかし、もっと、もっとという先には何があるのだろうか。いつまでたっても、何を手に入れてみ

ても本当には安心できないことになってきているのではなからうか。

釈尊は2500年も前に、すでに「少欲知足」と言われた。人間の欲望にきりが無いことを見抜き、満足を知れとの呼びかけである。人間は昔から何も変わっていないのかもしれない。でも「足るを知る」ことは今こそ大切なのではなからうか。私たちはこのあたりで一歩足を止める勇気が求められている。

(いちらく まこと)
准教授 真宗学